



SELPHY CP1200

COMPACT PHOTO PRINTER

プリンターユーザーガイド

- ご使用前に必ず本書および、本書の「安全に使っていただくために」をお読みください。
- 本書をよく読んで、正しくお使いください。
- 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

ページ上部のボタンをクリックすると、ページを移動できます。



目次

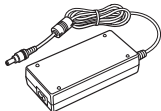
: 目次に移動します。

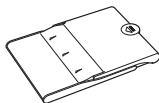
日本語

プリンターと付属品の確認

お使いになる前に、以下のものが入っていることを確認してください。

万が一、不足のものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。


☐ セルフィー本体

☐ コンパクト
パワーアダプター
CA-CP200 B

☐ 電源コード

☐ ペーパーカセット
PCPL-CP400*

☐ ペーパーカセット
PCC-CP400

☐ セルフィー
SELPHY CP1200
ソリューション ディスク
Solution Disk

- 上記のほか、印刷物一式が入っています。

* L サイズ用アダプター付き

インクと用紙について（別売）

お使いになる前に、カラーインク／ペーパーセットを別途購入してください。

カラーインク／ペーパーセット			必要なペーパー カセット
製品名	用紙の大きさ	印刷できる 枚数	
カラーインク／ペーパーセット KL-36IP	L サイズ	36	ペーパーカセット PCPL-CP400
カラーインク／ペーパーセット KL-36IP 3PACK		108	
カラーインク／ペーパーセット KP-36IP（ポストカード）	ポストカード サイズ	36	ペーパーカセット PCPL-CP400*
カラーインク／ペーパーセット RP-54（写真用紙）		54	
カラーインク／ペーパーセット RP-108（写真用紙）		108	
カラーインク／ペーパーセット RP-1080V（写真用紙）		1080	
カラーインク／ペーパーセット KP-108IN（写真用紙）		108	
カラーインク／ペーパーセット KC-36IP	カードサイズ	36	ペーパーカセット PCC-CP400
カラーインク／ フルサイズラベルセット KC-18IF（全面シール紙）		18	
カラーインク／ラベルセット KC-18IL（8 分割シール紙）		18	
カラーインク／ラベルセット KC-18IS（正方形シール紙）		18	




* L サイズ用のアダプターを外すことでポストカードサイズ用としてお使いいただけます。

一部のアクセサリは、地域によってはお買い求めいただけないことがあります。

お使いになる前にお読みください

- 本製品で印刷した画像は、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 本製品の保証書は国内に限り有効です。万が一、海外旅行先で故障や不具合が生じたときは、帰国したあと、別紙の修理受付センターへご相談ください。
- 液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、印刷される画像に影響はありません。
- 液晶モニターに保護シートが貼られているときは、はがしてからご使用ください。

このガイドの記載について

- 本プリンターのことを「セルフイー」または「本機器」と表記しています。
- このガイドでは、ボタンやボタンの周囲に表記されている絵文字を使って説明しています。詳しくは、「操作部」( 12) を参照してください。
- 画面に表示される絵文字や文言は、[] つきで示しています。
- ①：知っておいていただきたい重要事項を示しています。
- ：上手に使うためのヒントや補足事項を示しています。
- xx：参照ページを示しています。xx はページ数を示しています。
- すべての機能が初期状態になっていることを前提に説明しています。
- このセルフイーで使えるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。

安全に使っていただくために

- ご使用の前に「安全に使っていただくために」をよくお読みの上、製品を正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
- 別売アクセサリをお持ちのときは、付属の使用説明書もあわせてご確認ください。



警告

死亡または重傷を負う可能性がある内容です。

- お子様や幼児の手の届くところで保管しない。
電源コードを誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。
- 指定外の電源は使わない。
- 分解、改造したり、加熱しない。
- 落とすなどして強い衝撃を与えない。
- 落下などで破損したときは、内部には触れない。
- 煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。
- 水や海水などの液体で濡らさない。
- 内部に液体や異物などを入れない。

感電、火災の原因となります。

液体で濡れたときは、コンセントから抜いて、お買い上げになった販売店または修理受付センターにご相談ください。

- 雷が鳴り出したら本機器や電源プラグに触れない。

感電、火災の原因となります。すぐに使用をやめ、本機器から離れてください。

- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったホコリや汚れを乾いた布で拭きとる。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない。また、電源プラグが傷んでいたり、差し込みが不十分なまま使わない。
- 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを付着させない。
- 電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工しない。

感電、火災の原因となります。

- CD-ROM が付属されているときは、CD-ROM 対応ドライブ以外では絶対に再生しない。

音楽用 CD プレーヤーで再生してヘッドホンなどを使用したときは、大音量により聴力障害の原因となります。また、音楽用 CD プレーヤーで使用したときは、スピーカーなどの破損の原因となります。



注意

傷害を負う可能性がある内容です。

- 本機器の内部には手を入れない。
- 付属の電源コードが足などに引っかからない場所に本機器を設置する。

けがや本機器の故障の原因となります。

- 次の場所で使用・保管しない。
 - 直射日光のあたるところ
 - 40 度を超える高温になるところ
 - 湿気やホコリの多いところ
 - 振動が激しいところ

本機器やアダプターの発熱、破損により感電、やけど、けが、火災の原因となることがあります。

本機器やアダプターが熱により変形することがあります。

注意

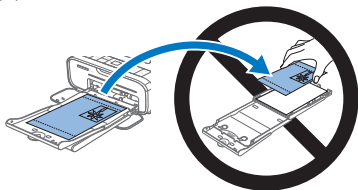
物的損害を負う可能性がある内容です。

- 使用しないときや使い終わったら、コンセントから外す。
- 布などをかけたまま使用しない。

長時間接続しておく、発熱、変形して火災の原因となることがあります。

- 図のように、一部にしか画像が印刷されておらず余白が残っている用紙でも、一度印刷した用紙は、絶対に再使用しない。

インクシートが用紙に貼りついたり、用紙が詰まったりして、本機器の故障の原因となります。



- 印刷中に電源プラグを抜かない。

誤って電源を切ってしまったときは、もう一度電源を入れて、用紙が出てくるのを待ちます。用紙が詰まったときは、お買い上げになった販売店または修理受付センターにご相談ください。無理に用紙を取り出そうとすると、故障の原因となります。

- モーターなどの強力な磁場を発生させる装置の近くや、ホコリやチリなどの多いところにセルフイーを置かない。

故障や誤動作の原因となります。

もくじ

プリンターと付属品の確認	2
インクと用紙について (別売)	3
お使いになる前にお読み ください	4
このガイドの記載に ついて	5
安全に使っていただく ために	6
もくじ	10
各部のなまえ	11

基本操作 15

準備	16
カードと画像の確認	26
画像の印刷 (えらんで印刷)	28
印刷した写真の保管	33
印刷後のかたづけ	34

いろいろな印刷 35

すべての画像の印刷	36
画像を切り抜く (トリミング)	38
証明写真の印刷	40
履歴から画像を選んで印刷 (焼き増し印刷)	45

設定の変更	47
-------------	----

Wi-Fi 接続での印刷 65

スマートフォンからの印刷 ..	66
カメラからの印刷	73
パソコンからの印刷	77
その他の Wi-Fi 機能	93

ケーブル接続での印刷 99

パソコンからの印刷 (Windows)	100
パソコンからの印刷 (Mac OS)	104
カメラからの印刷	107

故障かな？と思ったら... 109

付録 117

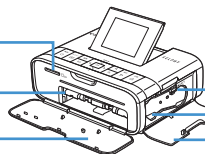
コンセントのない場所での 印刷	118
主な仕様	120
日ごろの取り扱いに ついて	124
Wi-Fi (無線 LAN) に ついて	127

各部のなまえ

カード差し込み口
([図26](#))

ペーパーカセット
挿入部 ([図21](#))

ペーパーカセット
カバー ([図21](#))



インクロック ([図30](#))

インク挿入部 ([図21](#))

インクカバー ([図21](#))

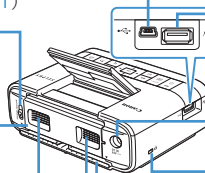
パソコン接続用
USB 端子 ([図101](#))

バッテリー／
バッテリーカバー
取り外しスイッチ
([図118](#))

バッテリー
取付け部カバー
([図118](#))

通風孔 ([図124](#))

一時排紙口



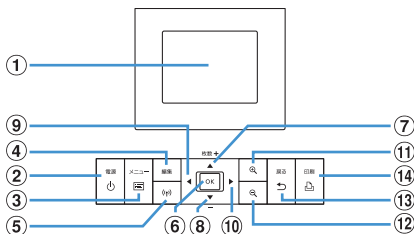
カメラ／USBメモリー
接続用 USB 端子
([図32](#)、[図107](#))

DC IN (電源入力) 端子
([図22](#))

セキュリティーロット*

* ケンジントンロックなどのセキュリティーケーブルを取り付けることができます。

操作部



本書での表記	名称	機能
①	—	画面 (液晶モニター)
②	<⏻>	電源ボタン
③	<☰>	メニューボタン
④	—	編集ボタン
⑤	<📶>	Wi-Fi ボタン
⑥	<OK>	OK ボタン
⑦	<▲>	上／＋ボタン
⑧	<▼>	下／－ボタン
⑨	<◀>	左ボタン
⑩	<▶>	右ボタン

画像や各種設定画面、エラーメッセージを表示します (116)。

電源を入／切します (24)。

メニュー画面を表示します (24)。

編集メニュー画面を表示したり、トリミング枠を回転したりします。

Wi-Fi 接続方法の設定画面を表示します (94)。

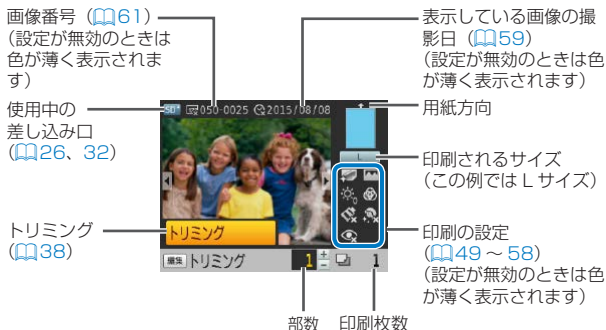
選んだ項目を設定します。

部数の指定や、設定項目を選びます。

表示画像を切り換えたり、設定値を変えたりします。

⑪	<⌕>	拡大ボタン	画面表示を切り換えたり、トリミング枠を拡大したりします。
⑫	<🔍>	縮小ボタン	画面表示を切り換えたり、トリミング枠を縮小したりします。
⑬	<↶>	戻るボタン	1 つ前の画面に戻ったり (📖48)、印刷を中止したりします (📖29)。
⑭	<🖨>	印刷ボタン	印刷をはじめます (📖29)。

画面の表示内容一覧



画面の表示を切り換える

＜⊕＞ ボタンを押すと、画面いっぱいに解像度を高くして画像を表示できます。このとき、印刷される範囲を示す枠が表示されます。

＜⊖＞ ボタンを押すと 1 枚表示に戻ります。

＜⊖＞ ボタンを押すと、画像を 9 枚表示にできます。＜⊕＞ ボタンを押すと 1 枚表示に戻ります。

基本操作

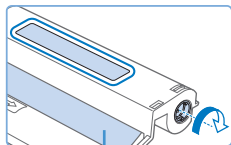
セルフィーを準備して、カード内の画像を選び、部数を指定して印刷する基本的な操作について説明しています。

準備

画像を印刷するための準備をします。ここでの説明は、L サイズのカラーインク／ペーパーセット（別売）（[図3](#)）を使ったときを例に説明していますが、L サイズ以外のカラーインク／ペーパーセットを使うときも、同じ操作で準備できます。

なお、ホコリやチリなどがインクシートや用紙に付くと、印刷した写真にスジが入ったり、故障の原因（[図8](#)）にもなりますので十分注意してください。

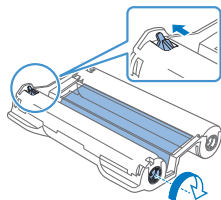
インクを準備する



インクシート

インクやインクシートを確認する

- インクシートに触れないようにインクを持ち、印刷する用紙とインクの「用紙サイズ表示」（L SIZE、POSTCARD SIZE、CARD SIZE）がまっていることを確認します。
- インクシートにたるみがないか確認します。たるみがあるとセルフィーに入れたときにインクシートが切れたり破れて印刷できなくなるため、図のように軸を軽く回してたるみをとります。

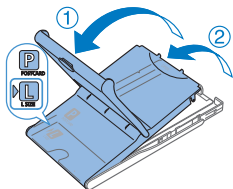


- 下面にロックのあるインクでは、図のようにロックを押して解除しながら軸を軽く回してたるみをとります。



- 「インクシートに触れない」、「濡れた手でインクを持たない」、「インクシートにホコリやチリなどを付けない」よう注意してください。汚れや水滴により「写真にスジが入る」、「きれいに印刷されない」他、インクシートが切れて印刷できなくなったり、故障の原因（[8](#)）になることがあります。
- たるみをとるために軸を回すときは、軽く回してたるみをとるだけにしてください。強く回したり、回し過ぎるとインクシートが切れて印刷できなくなったり、印刷に必要なインクシートが足りなくなって用紙が余ることがあります。
- 使いきったインクは、再使用しないでください。正しく印刷されなかったり、用紙が詰まるなどの故障の原因となる場合があります。

ペーパーカセットを準備する



1 用紙サイズ表示を確認する

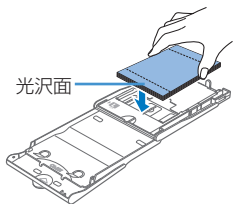
- 準備したインクとペーパーカセットの「用紙サイズ表示」(L SIZE、POSTCARD、CARD SIZE) があっていることを確認します。

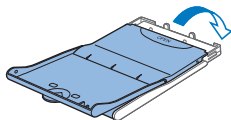
2 ふたを開ける

- ふたは 2 段階になっています。外ふたを開けてから①、中ふたを開けます②。

3 用紙を入れる

- 準備したペーパーカセット用の用紙を入れます。
- ペーパーカセットに入れられる用紙は 18 枚までです。19 枚以上の用紙を入ると、故障や誤動作の原因になります。
- 用紙を図のように持ち、光沢のある面を上にして入れます。(光沢のある面には触らないでください。きれいに印刷できなくなります)
- 用紙に「保護シート」が付いているときは、保護シートを取り除いて、用紙だけを入れます。

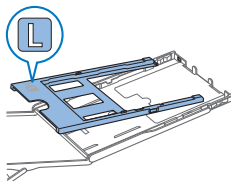




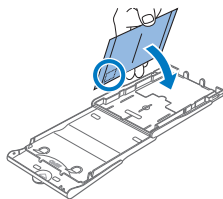
4 ふたを閉める

- 中ふたを「カチッ」と音がするまでしっかりと閉めます。
- 外ふたは印刷するときは開いたまま使います。

■ ポストカードサイズで印刷するとき



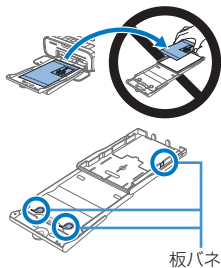
- 付属の PCPL-CP400 でポストカードサイズの印刷をすることもできます。このときは、図のようにアダプターを取り外してから、ポストカードサイズの用紙を入れてください。



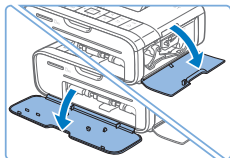
- 切手欄のあるポストカードサイズの場合は、切手欄を図の向きにして入れます。



- セルフィーの性能を最大限発揮し、快適に印刷するために、キヤノン純正「カラーインク／ペーパーセット」のセルフィーC Pシリーズ専用インクと専用用紙をお使いになることをおすすめします。
- セルフィーE Sシリーズ専用インクや専用用紙、郵便はがきは使えません。
- 以下のことは絶対に行わないでください。故障や誤動作の原因となります。
 - 用紙の表（光沢のある面）と裏を逆に入れる
 - 印刷前に用紙のミシン目を折り曲げたり、切り離す
 - はがれかけたシール紙や、はがした部分のあるシール紙を使う
 - 印刷前の用紙に文字などを書き込む
 - 一度印刷した用紙や一部にしか画像が印刷されておらず余白が残っている用紙を再使用する（[図8](#)）
- ペーパーカセットの板バネには触らないでください。
変形すると紙送りがうまくできなくなります。
- カードサイズのペーパーカセットでは、板バネは上面の真ん中に1つ付いています。
- 「用紙の表（光沢のある面）に触れたり、こすらない」、「濡れた手で用紙を持たない」、「用紙にホコリやチリなどを付けない」よう注意してください。汚れや水滴により「写真にスジが入る」、「きれいに印刷されない」他、故障の原因（[図8](#)）になることがあります。

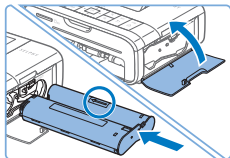


インクとペーパーカセットを入れる



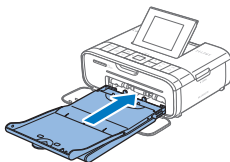
1 カバーを開ける

- ペーパーカセットカバーとインクカバーを開けます。



2 インクを入れる

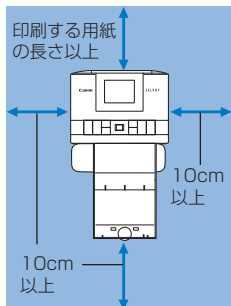
- インクをインク上の矢印方向に、「カチッ」と音がして、ロックされるまで差し込みます。
- インクカバーを閉めます。



3 ペーパーカセットを取り付ける

- 外ふたが開いていることを確認して (18)、ペーパーカセットが突きあたるまで差し込みます。

セルフィーを置いて電源をつなぐ

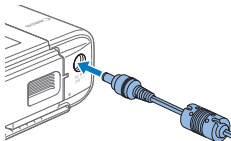


1 セルフィーを置く

- 机などのしっかりしたものの上に置いてください。ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には、絶対に置かないでください。
- 電磁波や強い磁気を出している機器からは離してください。
- セルフィーの周囲は、10cm以上あけてください。
- セルフィーのうしろは、印刷時に用紙が出たり入ったりするため、印刷する用紙の長さ以上あけてください。

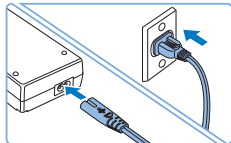
2 プラグをセルフィーにつなぐ

- アダプターのプラグをセルフィーの端子にしっかりと差し込みます。



3 電源コードをつなぐ

- 電源コードをアダプターに差し込み、プラグをコンセントに差し込みます。





- モーターなどの強力な磁場を発生させる装置の近くや、ホコリやチリの多いところにセルフィーを置かないでください。故障や誤動作の原因となります。
- テレビやラジオなどの近くにセルフィーを置かないでください。誤動作の原因となります。

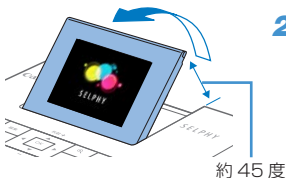
表示言語を選ぶ

画面に表示される言語を変えられます。



1 電源を入れる

- <⏻> を押したままにして、左の画面が表示されたら<⏻>をはなします。
- 電源を切るときは<⏻>を押したままにして、画面の表示が変わったら<⏻>をはなします。



2 画面（液晶モニター）をおこす

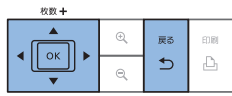
- 液晶モニターは約 45 度までおきます。それ以上の角度までおこそうとすると故障の原因になりますので、無理におこさないでください。



3 設定画面を表示する

- <⌂> を押します。
- <▲> か <▼> を押して [設定の変更] (Change Settings) を選び、<OK> を押します。





4 言語設定画面を表示する

- <▲> か <▼> を押して [言語] を選び、<OK> を押します。


5 言語を選んで設定する

- <▲><▼><◀><▶> を押して言語を選び、<OK> を押します。
- <↶> を 2 回押すと、手順 2 の画面に戻ります。


カードと画像の確認

使えるカードを確認する

そのまま使えるカード

- SD（エスディー）メモリーカード
- SDHC（エスディーエイチシー）メモリーカード
- SDXC（エスディーエックスシー）メモリーカード 

専用アダプター（市販品）を使うと使えるカード

- miniSD（ミニエスディー）メモリーカード
- miniSDHC（ミニエスディーエイチシー）メモリーカード 
- microSD（マイクロエスディー）メモリーカード
- microSDHC（マイクロエスディーエイチシー）メモリーカード
- microSDXC（マイクロエスディーエックスシー）メモリーカード



- アダプターが必要なカードは、必ずアダプターを使ってカード差し込み口に差し込んでください。アダプターを使わずに差し込むと、取り出せなくなる恐れがあります。
- 撮影した機器で初期化したカードをお使いください。パソコンで初期化したカードでは、画像を認識できないことがあります。



- カードやアダプターの使いかたについては、カードやアダプターの使用説明書を参照してください。

USB メモリーについて

USB メモリー（市販品）をセルフイーにつないで、USB メモリー内の画像を印刷することもできます（[32](#)）。

印刷できる画像を確認する

セルフィーで印刷できるのは、Exif 規格に準拠した JPEG 画像です。



- パソコンで編集した画像や、撮影時の画像サイズによっては正しく表示・印刷できないことがあります。

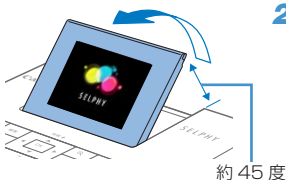
画像の印刷（えらんで印刷）

画像を選び、部数を指定して印刷することができます。なお、ここでの説明は、SD カードを使ったときを例に説明していますが、SD カード以外のカードも、同じ操作で印刷できます。



1 電源を入れる

- <電源> を押したままにして、左の画面が表示されたら <電源> をはなします。
- 電源を切るときは <電源> を押したままにして、画面の表示が変わったら <電源> をはなします。



2 画面（液晶モニター）をおこす

- 液晶モニターは約 45 度までおきます。それ以上の角度までおこそうとすると故障の原因になりますので、無理におこさないでください。



3 カード差し込み口にカードを差し込む

- カードを図の向きにして、「カチッ」と音がするまで差し込みます。
- カードを取り出すときは、「カチッ」と音がするまでカードを押し込み、ゆっくり指を放します。
- 手順 4 の画面（画像表示画面）（[図 14](#)）が表示されます。



部数

印刷枚数



4 画像を選ぶ

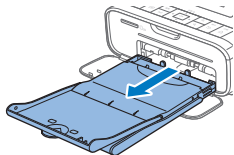
- <◀> か <▶> を押して印刷したい画像を選びます。
- <◀> か <▶> を押したままにすると、画像を5枚ずつとばして表示します。

5 部数を選ぶ

- <▲> か <▼> を押して部数を選びます。
- <▲> か <▼> を押したままにすると、5部ずつ増減します。
- 別の画像もいっしょに印刷するときは、もう一度、手順4と5の操作を繰り返します。

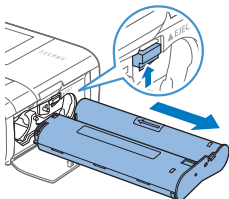
6 印刷する

- <🖨️> を押すと印刷がはじまります。
- 印刷中にセルフィーの背面から用紙が一時的に出てきますが、印刷が終わってペーパーカセットの上に出てくるまでは、用紙に触れないでください。
- 印刷された用紙は、ペーパーカセットの上に出てきますが、19枚以上はためないようにしてください。
- 印刷を途中で中止するときは必ず <⏮️> を押して中止してください。



7 用紙を入れる

- 画面に用紙が無くなったことを知らせるメッセージが表示されたときは、電源を切らずにペーパーカセットをセルフイーから抜きます。
- 新しい用紙を入れて (📖 18)、もう一度セルフイーに差し込みます (📖 21)。



8 インクをかえる

- 画面にインクが無くなったことを知らせるメッセージが表示されたときは、電源を切らずにインクカバーを開けます。
- ロックを図の方向へ動かすとインクが出てくるので、新しいインクを入れます (📖 16、21)。



- 電源を入れて、セルフイーの動作音がしている間や印刷中は、「ペーパーカセットを抜く」、「インクカバーを開ける」、「カードを抜く」ことは、絶対にしないでください。故障の原因となります。
- 印刷を途中で中止するときは必ず <⏏> を押して中止してください。印刷中に <⏻> を押しても印刷を中止することはできず、電源プラグを抜くなどの操作を行うと故障の原因となります。



- カードに大量の画像が保存されているときは、手順 4 の画面に画像が表示されるまでに時間がかかることがあります。
- [印刷指定画像 (DPOF) があります] の画面が表示されたときは、「カメラで指定した画像を印刷する (DPOF 印刷)」(📖 108) を参照してください。
- 手順 4 ～ 5 の操作で印刷指定できる画像は最大 99 画像までで、1 画像につき指定できる部数は最大 99 部です。なお、指定した画像の合計が 999 枚を超える指定はできません。
- <⏏> を押して印刷を中止しても、印刷中の用紙は最後まで印刷されます。

用紙が余るのを防ぐ

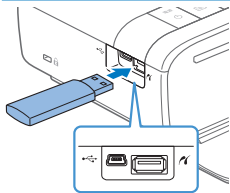
インクが足りなくなることにより用紙が余ってしまうことを防ぐため、以下のことに注意してください。

- インクシートのたるみをとるときに、軸を回し過ぎない(📖 16)。
- 印刷を途中で中止するときは必ず<⏏>を押して中止し、<⏏>を押して中止する前に電源を切らない(手順 6)。
- 画面に用紙が無くなったことを知らせるメッセージが表示されたときは、電源を切らずインクを入れたままで、用紙を入れるか(手順 7)、<⏏>を押して印刷を中止する(手順 6)。

ただし、お使いになる状況によっては上記の操作を行っても、インクシートが足りなくなることによる用紙の余りを防ぐことができないことがありますので、予めご了承ください。

USB メモリーの画像を印刷する

USB メモリー（市販品）内の画像も、カード内の画像と同じように印刷できます。



- カードを差し込んでいるときは抜きます。
- 図のように USB メモリーを差し込みます。
- 以降の操作は、カード内の画像を印刷するときと同じ操作で印刷できます（[28](#)～[30](#)）。



- お使いになる USB メモリーによっては、抜き差ししづらかったり、正しく動作しなかったりすることがあります。
- USB メモリーの使いかたについては、お使いの USB メモリーの使用説明書を参照してください。

選んだ画像を 1 枚だけ印刷する

かんたんな操作で、選んだ画像を 1 枚だけ印刷することができます。



- 「画像の印刷（えらんで印刷）」の手順 1～4（[28](#)）の操作で画像を選びます。
- を押すと、選んだ画像が 1 枚だけ印刷されます。



- 「画像の印刷（えらんで印刷）」の手順 4～5（[29](#)）の操作で印刷する画像や部数を指定しているときは、上記の操作を行っても印刷指定した画像の印刷が優先されます。そのため、[29](#) の手順 4 の画面で印刷される部数の数値が「0」になっている状態で操作してください。

印刷した写真の保管

- 用紙の両側にミシン目がある写真は、ミシン目を折り曲げて切り取ることができます。
- 写真に文字を書くときは、油性ペンで書いてください。
- 印刷面の変色を防ぐため、「40度を超える高温になるところ」、「湿気やホコリの多いところ」、「直射日光があたりところ」では、写真を保管しないでください。
- 変色や色落ち、色移りの原因になりますので、印刷面に「粘着テープなどを貼る」、「ビニール製のデスクマット、名刺ケース、プラスチック製消しゴムに触れさせる」、「アルコールなどの揮発性溶剤をつける」、「他のものに密着させたまま放置する」などはいしないでください。
- アルバムに入れて保管するときは、収納部分がナイロン系、ポリプロピレン、セロハンのものを選んでください。



- 保存状態や時間の経過によって、印刷面が変色することがありますが、この点については補償いたしかねます。

印刷後のかたづけ

- ① 電源を切り (24)、カードや USB メモリーを抜きます。
 - ② 画面 (液晶モニター) をおこしているときは画面を保護するため、たおして収納します。
 - ③ 電源コードのプラグをコンセントから抜き、アダプターのプラグをセルフイーから抜きます。
 - アダプターが熱いときは、冷ましてからかたづけてください。
 - ④ ペーパーカセットを抜き、ペーパーカセットカバーを閉めます。残った用紙はペーパーカセットに入れたまま外ふたを閉め、高温多湿を避けてホコリが入らない暗いところに保管します。
 - インクは、セルフイーに入れたまま保管します。
 - セルフイーは水平にして、ホコリやチリが入らない暗いところに保管します。ホコリやチリが入ると、写真の白すじや故障の原因になります。
-
- ❗
- 複数のインクがあるときは、1 つはセルフイーに入れて、その他はホコリがつかないよう箱や袋などに入れ、暗いところに保管してください。
 - 包装から出す前の用紙やインクは、包装を開けず、暗いところに保管してください。

いろいろな印刷

画像の一部だけの印刷や、証明写真の印刷のほか、セルフィーの設定を変えていろいろな印刷をする操作について説明しています。

すべての画像の印刷

カード内に保存されているすべての画像を、一括して印刷することができます。



1 メニューを表示する

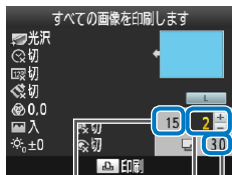
- <≡> を押します。



2 設定画面を表示する

- <▲> か <▼> を押して [すべてを印刷] を選び、<OK> を押します。




カード内の
総画像数

部数
印刷枚数


3 部数を選ぶ

- <▲> か <▼> を押して部数を指定します。
- <▲> か <▼> を押したままにすると、5 部ずつ増減します。

4 印刷する

- <印刷> を押すと印刷が始まります。
- 印刷を途中で中止するときは、<戻る> を押します。



- カード内に保存されている画像が 999 枚を超えるときは、撮影日時が新しい順に 999 枚までの画像が印刷されます。
- 手順 3 の操作で指定できる部数は最大 99 部です。ただし、カード内の画像数と部数の合計が 999 枚を超えるような指定はできません。(例として、カードに 100 画像が入っているときに指定できる部数は、最大 9 部です)

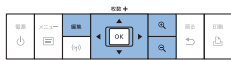
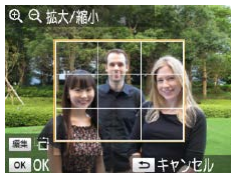
画像を切り抜く（トリミング）

画像の一部分を切り抜いて印刷することができます。



1 トリミング画面を表示する

- 「画像の印刷（えらんで印刷）」の手順 4（[29](#)）の操作で画像を選んだあと、編集ボタンを押して、<OK> を押します。
- 画面に切り抜く範囲を示すトリミング枠が表示されます。



2 切り抜く範囲を決める

- 編集ボタンを押すたびに、トリミング枠が縦、横に切り換わります。
- <▲><▼><◀><▶> を 押 す と、トリミング枠が移動します。
- <⊕> を押すとトリミング枠が大きくなり、<⊖> を押すと小さくなります。



3 設定する

- <OK> を押すと切り抜く範囲が設定されて、画像表示画面に戻ります。
- 別の画像も切り抜いて、いっしょに印刷するときは、もう一度手順 1 ～ 3 の操作を行います。

4 印刷する

- 「画像の印刷（えらんで印刷）」の手順 6 (📖29) の操作で印刷します。
- 印刷が終わると、切り抜く範囲の設定は解除されます。



- 一度設定した切り抜き範囲を変えたいときは、画像表示画面で編集ボタンを押したあと、<▲> か <▼> を押して[トリミング調整]を選び、<OK> を押して手順 2 ～ 3 の操作を行います。
- 切り抜き範囲を設定したあとに切り抜きをやめたいときは、画像表示画面で編集ボタンを押したあと、<▲> か <▼> を押して[トリミング解除]を選び、<OK> を押すと表示されるトリミング解除画面で、もう一度 <OK> を押します。
- 設定した切り抜き範囲は、印刷前にセルフイーの電源を切るか、カードを抜くなどの操作を行うと、すべて解除されます。
- 切り抜く範囲を一度に設定できるのは、最大 99 画像です。
- [すべてを印刷]、[焼き増し印刷]、[DPOF 印刷] で印刷するときや、[レイアウト] (📖51) で [📄 インデックス]、[📄 シャッフル] を選んでいるときは、画像を切り抜くことはできません。
- 切り抜く範囲の縦横比は、画面に表示される枠の縦横比から変えることはできません。
- 手順 3 の画像表示画面で <▲> か <▼> を押すと部数を変えられます。なお、印刷される部数を 0 部にしても、切り抜く範囲の設定は解除されません。

証明写真の印刷



撮影した画像を、証明写真として印刷することができます。写真サイズは次の 3 種類から選べます。

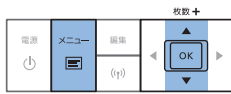
【マニュアル】	長辺と短辺の長さを指定して印刷します。
【パスポート】	国際標準である ICAO 規格に準拠した写真を印刷します。
【組み合わせ】	50 × 50mm (約 2.0 × 2.0in.) と 45 × 35mm (約 1.8 × 1.4in.) の 2 種類のサイズで印刷します。

- 【マニュアル】 と 【パスポート】 では、1 枚の用紙に印刷する画像を 2 種類まで選べます。
- 用途によっては、正式な証明写真としてお使いいただけないことがあります。詳しくは、写真のご使用先にお問い合わせください。



1 証明写真印刷の設定にする

- <国> を押します。
- <▲> か <▼> を押して [証明写真] を選び、<OK> を押します。



2 証明写真の仕上がりサイズを指定する

- <◀> か <▶> を押してサイズの指定方法を選びます。
- [マニュアル] を選んだときは、<▲> か <▼> を押して [長辺] を選び、<◀> か <▶> を押して長辺の長さを選んでから、[短辺] の長さを指定して、もう一度 <OK> を押します。なお、[長辺] の長さによって、指定できる [短辺] の長さは自動的に切り換わります。
- [パスポート] または [組み合わせ] を選んだときは、表示された画像のサイズを確認して <OK> を押します。



3 画像を選んで印刷する

- <◀> か <▶> を押して印刷したい画像を選び、<▲> を押すと画面の右下に✓が表示されます（[マニュアル]、[パスポート]では最大2画像、[組み合わせ]では1画像のみ）。
- 編集ボタンを押すと、切り抜く範囲を設定できます（[図38](#)）。
- 「画像の印刷（えらんで印刷）」の手順6（[図29](#)）の操作で印刷します。
- 印刷が終わると、設定内容は解除されます。



- カードサイズ用の紙は使えません。
- [フチ] の設定は適用されません。また、日付や画像番号は印刷されません。
- 手順3で2つの画像を選んだときは、レイアウトされているコマの数に応じて、それぞれの画像が半数ずつ印刷されます。なお、コマの数が奇数であるときは、中央のコマは印刷されません。
- 電源を切っても証明写真設定の画面（[図40](#)）の設定内容は記憶されています。
- 電源を入れたときやカードを差したときに、証明写真設定の画面（[図40](#)）を表示させるようにすることもできます（[図62](#)）。
- 印刷された各画像の四隅には、写真を切り取るときの目安となる印が印刷されます。

表示されるサイズを絞り込む

[証明写真] ▶ [サイズ指定] ▶ [マニュアル] を選ぶといろいろなサイズを指定できます。よく使うサイズだけを表示させるようにすることで、サイズを指定しやすくすることができます。

1 設定画面を表示する

- 証明写真のサイズを選ぶ画面の [サイズ指定] ▶ [マニュアル] を選び (41)、編集ボタンを押します。

2 表示するサイズを選ぶ

- <▲><▼><◀><▶> を押してサイズを選び <OK> を押します。
- ✓ が消えて、[証明写真設定] 画面 (41) に表示されないようになります。表示させるときはもう一度 <OK> を押して ✓ を表示させます。
- 編集ボタンを押すとすべての ✓ が消えます。すべてのサイズに ✓ がないときに編集ボタンを押すとすべてのサイズに ✓ が表示されます。
- 表示させるサイズを選んだら、<↩> を押します。





- すべてのサイズに✓がないときに<↔>を押すとメッセージが表示されます。<OK>を押して「サイズ絞込み」画面を表示し、少なくとも1つのサイズに✓を表示させてから<↔>を押してください。

画像を切り抜く



- [証明写真] の [サイズ指定] で [パスポート] または [組み合わせ] を選んでいるときに切り抜く範囲を表示 ([📖38](#)) すると、2本の線が表示されます。
- [パスポート] を選んでいるときに2本の線に頭とあごの位置を合わせて切り抜くと、パスポート申請用写真の規格に準拠した顔の位置と大きさを印刷できます。
- [組み合わせ] を選んでいるときは、サイズが異なる2種類の枠が同時に表示されます。



- 顔の位置や大きさ以外の詳細な規格については、写真のご使用先にお問い合わせください。

履歴から画像を選んで印刷(焼き増し印刷)

えらんで印刷 (📖28) で印刷した画像には履歴が残ります。印刷履歴から画像を選んで印刷することができます。



1 印刷履歴を表示する

- <☰> を押します。
- <▲> か <▼> を押して [焼き増し印刷] を選び、<OK> を押します。

2 画像を選ぶ

- 過去に印刷した画像、レイアウト、ペーパーカセットが履歴情報として表示されます。
- <▲> か <▼> を押して印刷したい画像を選び <OK> を押します。



3 部数を選んで印刷する

- 「すべての画像の印刷」の手順 3 ~ 4 (📖37) の操作で部数を選び、印刷します。



- セルフィーが記憶できる印刷履歴は最大 10 件です。
- 履歴情報の設定を変更して印刷することはできません。
- 次の操作を行うと、履歴は消去されます。
 - カードを抜く
 - 電源を切る
- レイアウト (📖51) で [🖨️ シャッフル] または [📄 インデックス] を選んでいるときは、印刷しても履歴は残りません。
- 途中で印刷を中止したときは、履歴は残りません。
- 履歴情報と異なるペーパーカセットまたはインクが入っているときは、印刷できません。

設定の変更

撮影した日付を入れて印刷したり、画像の色調を変えて印刷するなど、いろいろな印刷をすることができます。また、設定した内容は、印刷するすべての画像に反映されるため、画像ごとに設定する必要はありません。

設定できる項目	説明
表面仕上げ (📖49)	写真の表面の光沢を抑えた仕上げにすることができます。
フチ (📖50)	写真にフチをつけて印刷することができます。
レイアウト (📖51)	1枚の用紙に印刷する画像数を設定することができます。
自動補正 (📖54)	画像に応じて、明るさやコントラストなどを自動で補正できます。
明るさ補正 (📖55)	画像の明るさを、±3の範囲で補正することができます。
色調整 (📖54)	色あいをRBCY0～3の範囲で調整することができます。
マイカラー (📖57)	通常の撮影画像とは違った印象の画像にしたり、セピア調や白黒画像に変えることができます。
美肌 (📖57)	人の肌がきれいに見える写真にすることができます。
赤目補正 (📖58)	目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を、補正することができます。
日付 (📖59)	カメラで記録された撮影日を、写真に入れて印刷することができます。
日付スタイル (📖60)	日付を入れて印刷するときの、日付の並び順を変えることができます。
画像番号 (📖61)	画像番号を写真に入れて印刷することができます。
証明写真優先 (📖62)	証明写真の設定画面を優先的に表示させることができます。
印刷設定の記憶 (📖63)	「フチ」と「レイアウト」の設定を電源を入れなおしても記憶しておけるようにできます。
節電 (📖64)	自動で電源が切れるようにできます。
言語 (📖24)	画面に表示される言語を変えられます。

設定する

1 設定画面を表示する

- <国> を押します。
- <▲> か <▼> を押して [設定の変更] を選び、<OK> を押します。



2 項目を選んで設定を変える

- <▲> か <▼> を押して項目を選びます。
- <◀> か <▶> を押して設定を変え、<↶> を押すと設定されます。

3 画像表示画面を表示する

- <▲> か <▼> を押して [えらんで印刷] を選び、<OK> を押します。
- 設定できる項目は、[49](#) ~ [64](#) を参照してください。

4 印刷する

- 印刷する画像と部数 (📖29) を選び、<🖨️> を押して印刷します。

写真の仕上がりを選ぶ (表面仕上げ)



表面イメージ



[🖨️ 光沢]



[1 🖨️ パターン 1]



[2 🖨️ パターン 2]



[3 🖨️ パターン 3]


- 写真の表面に細かい凹凸を加えることで、光沢を抑えた仕上がりにすることができます。

🖨️ 光沢 (初期設定項目)	光沢のある表面に仕上がります。
1 🖨️ パターン 1	粗めのパターンで表面に凹凸を加え、光沢を抑えた仕上がりにします。
2 🖨️ パターン 2	細かいパターンで表面に凹凸を加え、光沢を抑えた仕上がりにします。
3 🖨️ パターン 3	細かい格子状で表面に凹凸を加え、光沢を抑えた仕上がりにします。





- 電源を入れるときのセルフイー内部の温度によっては効果が薄いことがあります。電源を入れる前に、気温が 10 ～ 35℃ の環境にセルフイーを置き周囲の温度になじませてから、電源を入れて印刷してください。




- セルフイーの電源を切ると、[ 光沢] に戻ります。

フチをつけて印刷する（フチ）




- 写真にフチをつけて印刷することができます。
-  フチなし（初期設定項目）、 フチあり





- セルフイーの電源を切ると、[ フチなし] に戻ります。設定を記憶させることもできます (📖 63)。











レイアウトを選んで印刷する（レイアウト）



- 1 枚の用紙に印刷する画像数を設定することができます。印刷枚数を指定した画像が（[図29](#)）、設定したレイアウトで印刷されます。
- カラーインク／ラベルセット KC-18IL（8 分割シール紙）（[図3](#)）では、[ 8 面配置] に設定してください。


<input type="checkbox"/> 1 面配置 (初期設定項目)	1 枚の用紙に 1 枚の画像が印刷されます	<input type="checkbox"/> 2 面配置 (固定サイズ)	1 枚の用紙にカードサイズ相当の画像が 2 枚印刷されます
<input type="checkbox"/> 2 面配置	1 枚の用紙に 2 枚の画像が印刷されます	 インデックス	画像がインデックス印刷されます
<input type="checkbox"/> 4 面配置	1 枚の用紙に 4 枚の画像が印刷されます	 シャッフル	画像が自動的にいろいろな大きさに配置されて印刷されます
<input type="checkbox"/> 8 面配置	1 枚の用紙に 8 枚の画像が印刷されます		





- セルフィーの電源を切ると、[ 1 面配置] に戻ります。設定を記憶させることもできます ( 63)。
- 画像の配置は指定できません。
- レイアウトの設定によっては、[日付] ( 59)、[画像番号] ( 61)、[自動補正] ( 54)、[赤目補正] ( 58)、[フチ] ( 50)、[美肌] ( 57) の設定が反映されないことがあります。
- [ インデックス] を選んでいるときに [すべてを印刷] ( 36) を行くと、カード内のすべての画像を一覧で印刷できます。

■ いろいろな大きさの画像を配置して印刷する(シャッフル)



- 画像を自動的にいろいろな大きさで配置して、印刷することができます。
- 1 枚の用紙に、最大 8 枚または最大 20 枚の画像を配置することができます。
- 「L サイズ」または「ポストカードサイズ」の用紙 ( 3) に印刷することができます。



- 「設定する」 ( 48) の手順 2 の画面で、<▲> か <▼> を押して [レイアウト] を選びます。<◀> か <▶> を押して [ シャッフル] を選び、<OK> を押します。
- 表示される左の画面で <▲> か <▼> を押して項目を選びます。

- <◀> か <▶> を押して設定を変え、<↩> を押すと設定されます。



- 画像の配置は指定できません。
- 印刷がはじまるまでに時間がかかることがあります。

1 枚の用紙にカードサイズ相当の画像を 2 枚印刷する (2 面配置 (固定サイズ))



- 1 枚の「L サイズ」または「ポストカードサイズ」の用紙 (📖3) に、「カードサイズ」相当の画像を 2 面配置して印刷することができます。

- 「設定する」 (📖48) の手順 2 の画面で、<▲> か <▼> を押して「レイアウト」を選びます。<◀> か <▶> を押して [2 面配置 (固定サイズ)] を選び、<OK> を押します。



- 表示される左の画面で<▲>か<▼>を押して項目を選びます。
- <◀>か<▶>を押して設定を変え、<↔>を押すと設定されます。



- [フチ] (📖 50) で [フチあり] を選ぶと、[中央揃え] で [切] を選ぶことができるようになります。
- 4:3 またはそれよりも細長い縦横比の画像を印刷するときは、[中央揃え] で [切] を選んでも、印刷される画像の配置は同じになります。



- 印刷された各画像の四隅には、写真を切り取る時の目安となる印が印刷されます。

写真を自動的に補正する（自動補正）






- 画像に応じて、明るさやコントラストなどを自動で補正します。
- 🖼 入（初期設定項目）、🖼 ✂ 切

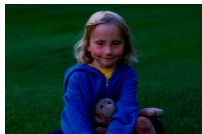


- 画像によっては、正しく補正されないことがあります。



- セルフィーの電源を切ると、[ 入] に戻ります。
- [レイアウト] ( 51) で [ インデックス] を選んでいるときは、[自動補正] は反映されません。
- 補正の効果は、レイアウトや印刷する用紙の大きさによって変わることがあります。

明るさを補正して印刷する（明るさ補正）



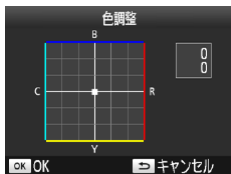
- 画像の明るさを、 ± 3 の範囲で補正することができます。
- + の数値が大きくなるほど明るくなり、- の数値が大きくなるほど暗くなります。



- セルフィーの電源を切ると、[± 0] に戻ります。

色あいを調整する（色調整）

- 色あいを RBCYO ～ 3 の範囲で調整することができます。









- 「設定する」(48) の手順 2 の画面で、<▲> か <▼> を押して「色調整」を選び、<OK> を押します。
- <▲><▼><◀><▶> を押して値を選び、<OK> を押すと設定されます。




- セルフィーの電源を切ると [0,0] に戻ります。

画像の色調を変えて印刷する（マイカラー）



- 通常の撮影画像とは違った印象の画像にしたり、セピア調や白黒画像に変えることができます。

 切 (初期設定項目)	—	 ポジフィルム	ポジフィルムのように自然で色鮮やかな色調になります
 くっきり	コントラストと色の濃さを強調し、くっきりした印象の色調になります	 セピア	セピア調になります
 すっきり	コントラストと色の濃さを抑え、すっきりとした印象の色調になります	 白黒	白黒になります



- セルフィーの電源を切ると、[ 切] に戻ります。
- マイカラーの設定によっては、[赤目補正] ([📖58](#)) の設定が反映されないことがあります。



人の肌がきれいに見える写真にする（美肌）

- 人の肌がきれいに見える写真にすることができます。
-  切（初期設定項目）、 入

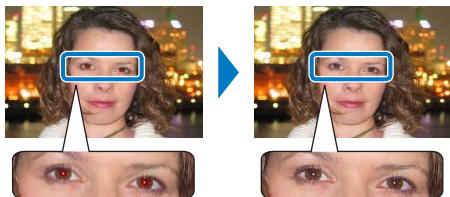


- 人の肌以外を補正したり、思ったような効果が得られないことがあります。



- 印刷が終わる、セルフィーの電源を切る、カードを抜くなどの操作を行うと、[ 切] に戻ります。
- [レイアウト] ([📖51](#)) で [ インデックス] を選んでいるときは、[美肌] は反映されません。

人の赤目を補正して印刷する（赤目補正）



- 目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を、補正することができます。
- 切（初期設定項目）、 入



- 赤目以外の部分を誤って補正することがあります。赤目現象が起こっている画像を印刷するときのみ [入] に設定してください。



- セルフィーの電源を切るか、カードを抜くと、[切] に戻ります。
- 「顔が画面全体に対して極端に小さい／大きい」、「顔が暗い／明るい」、「顔が横や斜めを向いていたり、顔の一部が隠れている」などの画像では、赤目が検出されなかったり、思いどおりに補正されないことがあります。
- [レイアウト] (51) で [2面配置]、[4面配置]、[8面配置]、[インデックス] を選んでいるときは、赤目補正は行われません。
- [マイカラー] (57) で、[セピア]、[白黒] を選んでいるときは、赤目補正は反映されません。
- 補正の効果は、切り抜く範囲の設定やレイアウト、印刷する用紙の大きさによって変わることがあります。

日付を入れて印刷する（日付）



2015/08/08

- カメラで記録された撮影日を、写真に入れて印刷することができます。
- 切（初期設定項目）、 オレンジ / 黒、 無色

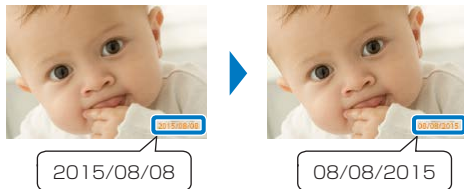


- カメラなどで日付が写し込まれた画像では、日付が重複して印刷されないように、[切] にしてください。



- セルフィーの電源を切ると、[切] に戻ります。
- 印刷される日付は、カメラが撮影時に画像へ記録した日付です。そのため、セルフィーでは変えられません。
- [日付スタイル] ([📖60](#)) で、日付のスタイル（並び順）を変えることができます。
- [レイアウト] ([📖51](#)) で [シャッフル] を選んでいるときは、日付は印刷されません。
- [証明写真] ([📖40](#)) を選んでいるときは、日付は印刷されません。
- 画像の縦横比、印刷の向き、用紙サイズによっては、日付を印刷できないことがあります。
- DPOF 印刷 ([📖108](#)) で日付を [入] にしているときは、セルフィーでの設定が [切] でも [オレンジ / 黒] で印字されます。
- 画像の縦横比、印刷の向き、用紙サイズによっては、[無色] を選んでも [無色] で印刷できないことがあります。
- DPOF 印刷 ([📖108](#)) で日付を [入] にしたときに [無色] を選んでも [無色] で印刷できないときは、[オレンジ / 黒] で印刷されます。

日付スタイル（並び順）を選んで印刷する（日付スタイル）




- 日付を入れて印刷（[59](#)）するときの、日付の並び順を変えることができます。
- 年 / 月 / 日（初期設定項目）、月 / 日 / 年、日 / 月 / 年












- 設定した内容は、セルフイーの電源を切ったり、カードを抜いたりしても記憶されています。

画像番号を入れて印刷する（画像番号）

- 画像番号を写真に入れて印刷することができます。
-  切（初期設定項目）、 オレンジ / 黒、 無色



- セルフィーの電源を切ると、[ 切] に戻ります。
- 印刷される画像番号は、カメラが撮影時に画像へ記録した画像番号です。そのため、セルフィーでは変えられません。
- [レイアウト] ( 51) で [ シャッフル] を選んでいるときは、画像番号は印刷されません。
- [証明写真] ( 40) を選んでいるときは、画像番号は印刷されません。
- 画像の縦横比や用紙サイズによっては、画像番号を印刷できないことがあります。
- DPOF 印刷 ( 108) で画像番号を [入] にしているときは、セルフィーでの設定が [切] でも [オレンジ / 黒] で印字されます。
- 画像の縦横比、印刷の向き、用紙サイズによっては、[ 無色] を選んでも [無色] で印刷できないことがあります。
- DPOF 印刷 ( 108) で画像番号を [入] にしたときに [ 無色] を選んでも [無色] で印刷できないときは、[ オレンジ / 黒] で印刷されます。

証明写真印刷を優先的に使う（証明写真優先）

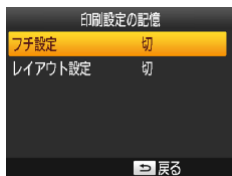
- 電源を入れたとき、カードを差したとき、印刷後に、証明写真設定の画面（[40](#)）が表示されるようになります。
- [切] のときは、[えらんで印刷] の画面（[28](#)）が表示されます。
- 切（初期設定項目）、入



- 「設定する」（[48](#)）の手順2の画面で、＜▲＞か＜▼＞を押して[証明写真優先]を選び、＜OK＞を押します。
- 表示される左の画面で＜▲＞か＜▼＞を押して設定を変え、＜OK＞を押すと設定されます。

電源を入れなおしたときに同じフチ、レイアウトの設定を使う（印刷設定の記憶）

- 電源を切っても、フチ（[50](#)）やレイアウト（[51](#)）の設定を記憶させることができます。
- 切（初期設定項目）、入
- フチ、レイアウトのそれぞれで設定できます。



- 「設定する」（[48](#)）の手順 2 の画面で、<▲> か <▼> を押して「印刷設定の記憶」を選び、<OK> を押します。
- 表示される左の画面で <▲> か <▼> を押して、[フチ設定] か [レイアウト設定] を選んで <OK> を押します。
- 表示された画面で <▲> か <▼> を押して設定を変え、<OK> を押すと設定されます。

節電する（節電）

- セルフィーを操作しない状態が約 5 分間続くと、自動で電源が切れます。
- 入（初期設定項目）、切



- 以下のときは、自動で電源は切れません。
 - 他の機器とつないでいるとき
 - Wi-Fi 機能を有効にしているとき
 - 画面にエラーメッセージなどが表示されているとき
- 複数の画像を印刷したときに印刷できない画像（[図27](#)）が含まれているときは、[印刷できない画像がありました 印刷を中止しますか?] が表示されて印刷が中断されます。このとき、自動で電源は切れません。

Wi-Fi 接続での印刷

Wi-Fi®（ワイファイ）*¹ に対応したスマートフォンやパソコンに保存されている画像を、無線を使って印刷する方法について説明しています。

- 本機器は Wi-Fi 認定製品です。Wi-Fi に対応したスマートフォン*²、タブレット端末*²、カメラ*³、パソコンに保存されている画像を、無線を使って印刷することができます。

- * 1 Wi-Fi とは、相互接続性が認定されたことを示す無線 LAN 機器のブランド名称です。
- * 2 お使いのスマートフォンやタブレット端末に専用のアプリケーション「Canon PRINT Inkjet/SELPHY」をインストールする必要があります（AirPrint に対応したアプリケーションを使うと、専用のアプリケーションをインストールしなくても印刷できます（[71](#)））。アプリケーションの詳細（対応する機種や機能など）については弊社 Web サイトでご確認ください。なお、以降、スマートフォンとタブレット端末を合わせて「スマートフォン」と記載しています。
- * 3 Wi-Fi で使える PictBridge（DPS over IP）に対応している必要があります。



- Wi-Fi 機能を使う前に、「Wi-Fi（無線 LAN）について」（[127](#)）を必ずお読みください。
- Wi-Fi 接続での印刷では、一部の機能は使えません。



- 本書では、Wi-Fi ルーターなどの無線親機をすべて「アクセスポイント」と呼びます。

スマートフォンからの印刷

アクセスポイントがない場所でもスマートフォンとセルフィーを接続して印刷することができます。

なお、AirPrint に対応したアプリケーションを使うと、専用のアプリケーションをインストールしなくても印刷できます (📖71)。



1 スマートフォンに専用のアプリケーションをインストールする

- iOS 端末 (iPhone、iPad、iPod touch) では、App Store から Canon PRINT Inkjet/SELPHY をダウンロードし、インストールします。
- Android 端末では、Google Play から Canon PRINT Inkjet/SELPHY をダウンロードし、インストールします。
- Windows RT 端末では、Windows Store から Canon PRINT Inkjet/SELPHY をダウンロードし、インストールします。

2 セルフィーの準備をする

- カードや USB メモリーを差し込んでいるときは抜きます。
- 印刷したい用紙が入ったペーパーカセットとインクを、セルフィーに入れます。詳しくは、「準備」(📖16) を参照してください。

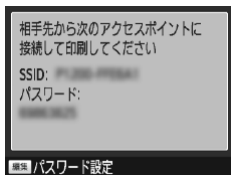


3 設定画面を表示する

- <☰> を押します。
- <▲> か <▼> を押して [Wi-Fi 設定] を選び、<OK> を押します。
- <▲> か <▼> を押して [接続設定] を選び、<OK> を押します。

4 プリンター名を確認する

- 表示されているプリンター名を確認して<OK>を押します。
- 編集ボタンを押してプリンター名を変えることもできます (📖95)。



5 接続方法を選ぶ

- <▲> か <▼> を押して [ダイレクト接続] を選び、<OK> を押します。

- 左の画面が表示されます。

6 スマートフォンを操作して、セルフイーの画面に表示されたネットワークにつなぐ

- お使いのスマートフォンの Wi-Fi に関する設定メニューから、セルフイーに表示された SSID（ネットワーク名）を選びます。
- パスワード欄には、セルフイーに表示されたパスワードを入力します。



7 スマートフォンを操作して、印刷する

- Canon PRINT Inkjet/SELPHY を起動し、画像を選んで印刷します。
- 印刷がはじまると左の画面が表示されます。
- この画面が表示されているときは通信を中断したり、印刷に使うアプリケーションを終了しないでください。途中までしか印刷されなかったり正しく印刷できないことがあります。
- 印刷が終わると左の画面（待機画面）が表示されます。



- 印刷中は、セルフイーの<↔>で印刷を中止できません。スマートフォンを操作して中止してください。
- すでにお使いのアクセスポイントを経由してスマートフォンと接続することもできます。このときは、スマートフォンとセルフイーを同じアクセスポイントに接続してください。セルフイーをアクセスポイントに接続する方法は「セルフイーをアクセスポイントに接続する」(79)を参照してください。
- セルフイーは、接続した複数の機器間での通信には使えません。
- <(P)>を押すと、手順5の画面を表示することができます。

2 回目からの印刷

- 接続設定 (📖66 ~ 69) を一度行くと、セルフイーの電源を入れ直したときに、📖69 の手順 7 の 2 つ目の画面 (待機画面) が自動的に表示されます。待機画面が表示されたあと、スマートフォンで 📖68 の手順 6、7 の操作を行うだけで印刷ができます。
- 待機画面が表示されているときに <OK> を押すと、SSID、パスワードを表示できます。
- 待機画面が表示されているときでも、カードを差し込むと 📖29 の手順 4 の画面が表示されてカード内の画像を印刷できます。

AirPrint を使って印刷する

AirPrint を使って、iOS 端末 (iPad、iPhone、iPod touch) から印刷することもできます。最新バージョンの iOS にアップデートしてください。

1 【プリント】を選ぶ

- お使いの iOS 端末のアプリケーションで印刷する画像を選び、
[⌂] をタップしてメニューオプションを表示し、[プリント] をタップします。

2 プリンタオプションを設定する

- [プリンタ] から「Canon SELPHY CP1200」を選びます。
- 部数を設定します。

3 印刷する

- [プリント] をタップして印刷します。



- アプリケーションによっては、AirPrint に対応していないため、手順 2 で【プリンタオプション】が表示されないことがあります。プリンタオプションが使えない時は、そのアプリケーションからは印刷できません。



- 印刷中にホームボタンを 2 回押すと【プリントセンタ】アイコンが表示され、次の操作ができます。
 - 印刷状況の確認
【プリントセンタ】アイコンをタップします。
 - 印刷の中止する
【プリントセンタ】アイコンをタップして、【プリントをキャンセル】をタップします。

■ AirPrint で印刷できないとき

印刷ができないときは、以下を確認してください。

- セルフィーの電源が入っていることを確認します。セルフィーの電源が入っているときは、電源を入れ直して問題が解決するか確認してください。
- セルフィーが、Apple 製機器と同じアクセスポイントに Wi-Fi 接続されていることを確認します。
- インクやペーパーカセットが正しく入っているか確認します。
- カード、USB メモリー、USB ケーブルを差し込んでいるときは抜きます。
- セルフィーの画面にエラーメッセージが表示されていないことを確認します。
- Wi-Fi の設定を初期化 (📖97) して、接続しなおします。

トラブルが解決しないときは、ほかの方法 (📖66、73、77) で印刷し、セルフィーで正しく印刷できるか確認してください。印刷できないときは、「故障かな? と思ったら」 (📖109) を参照してください。



- セルフィーの電源が入ってから Wi-Fi 接続で通信できるようになるまで、数分かかる可能性があります。セルフィーがアクセスポイント (📖88) に接続されていることを確認してから、印刷を試してください。

カメラからの印刷

Wi-Fi で使える PictBridge (DPS over IP) に対応しているカメラをセルフイーに接続して、印刷することができます。

1 セルフィーの準備をする

- カードや USB メモリーを差し込んでいるときは抜きます。
- 印刷したい用紙が入ったペーパーカセットとインクを、セルフイーに入れます。詳しくは、「準備」(16) を参照してください。

2 設定画面を表示する

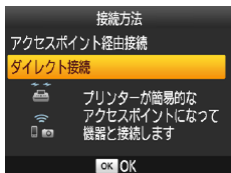
- <国> を押します。
- <▲> か <▼> を押して [Wi-Fi 設定] を選び、<OK> を押します。
- <▲> か <▼> を押して [接続設定] を選び、<OK> を押します。





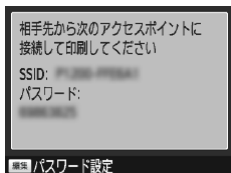
3 プリンター名を確認する

- 表示されているプリンター名を確認して<OK>を押します。
- 編集ボタンを押してプリンター名を変えることもできます(95)。



4 接続方法を選ぶ

- <▲> か <▼> を押して [ダイレクト接続] を選び、<OK> を押します。



- 左の画面が表示されます。



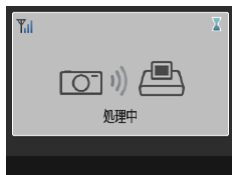
5 カメラを操作して、セルフイーの画面に表示されたネットワークにつなぐ

- お使いのカメラの Wi-Fi に関する設定メニューから、セルフイーに表示された SSID（ネットワーク名）を選びます。
- パスワード欄には、セルフイーに表示されたパスワードを入力します。



6 カメラを操作して、印刷する

- カメラを操作して、画像を選んで印刷します。
- 印刷が始まると左の画面が表示されます。
- この画面が表示されているときは通信を中断しないでください。途中までしか印刷されなかったり正しく印刷できないことがあります。
- カメラの接続を切ると左の画面（待機画面）が表示されます。





- 印刷中は、セルフイーの<↵>で印刷を中止できません。カメラを操作して中止してください。
- すでにお使いのアクセスポイントを経由してカメラと接続することもできます。このときは、カメラとセルフイーを同じアクセスポイントに接続してください。セルフイーをアクセスポイントに接続する方法は「セルフイーをアクセスポイントに接続する」(📖79)を参照してください。
- セルフイーは、接続した複数の機器間での通信には使えません。

2 回目からの印刷

- 接続設定(📖73～75)を一度行くと、セルフイーの電源を入れ直したときに、手順6の2つ目の画面(待機画面)が自動的に表示されます。待機画面が表示されたあと、カメラで手順5、6の操作を行うだけで印刷ができます。
- 待機画面が表示されているときに<OK>を押すと、SSID、パスワードを表示できます。
- 待機画面が表示されているときでも、カードを差し込むと📖29の手順4の画面が表示されてカード内の画像を印刷できます。

パソコンからの印刷

アクセスポイントを確認する

- パソコンから Wi-Fi で接続して画像を印刷するには、画像を送信するパソコンとアクセスポイントが接続されている環境が必要です。
- アクセスポイントは、次の Wi-Fi 規格に対応しているものをお使いください。確認方法については、お使いのアクセスポイントの使用説明書を参照してください。

規格	IEEE802.11b/g
対応チャンネル	1 ～ 11ch
伝送方式	DSSS (IEEE802.11b)、OFDM (IEEE802.11g)
セキュリティ	セキュリティなし、WEP (オープンシステム認証) (64 bit)、WEP (オープンシステム認証) (128 bit)、WPA-PSK (TKIP)、WPA-PSK (AES)、WPA2-PSK (TKIP)、WPA2-PSK (AES)

- お使いのアクセスポイントが WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応しているかどうかを確認してください。

WPS に対応しているとき

「アクセスポイントが WPS に対応しているとき」(📖79) の手順で接続してください*。

WPS に対応していないとき わからないとき

次の項目を確認しておき、「アクセスポイントが WPS に対応していないとき」(📖83) の手順で接続してください。

- ネットワーク名 (SSID/ESSID)
- ネットワークの認証 / データの暗号化 (暗号化方式 / 暗号化モード)
- パスワード (ネットワークキー)

* セキュリティが WEP のアクセスポイントでは、WPS では接続できません。「アクセスポイントが WPS に対応していないとき」(📖83) の手順で接続してください。



- システム管理者がいるネットワーク内で設定するときは、システム管理者に詳しいネットワーク設定の詳細をお問い合わせください。

セルフィーをアクセスポイントに接続する

アクセスポイントが WPS に対応しているとき（[79](#)）と、対応していないとき（[83](#)）で手順が異なります。

アクセスポイントが WPS に対応しているとき

1 アクセスポイントを確認する

- アクセスポイントの電源が入っていて通信できる状態であることを確認します。

2 セルフィーの準備をする

- カードや USB メモリーを差し込んでいるときは抜きます。
- 印刷したい用紙が入ったペーパーカセットとインクを、セルフィーに入れます（[16](#)～[21](#)）。

3 設定画面を表示する

- **<国>** を押します。
- **<▲>** か **<▼>** を押して [Wi-Fi 設定] を選び、**<OK>** を押します。
- **<▲>** か **<▼>** を押して [接続設定] を選び、**<OK>** を押します。





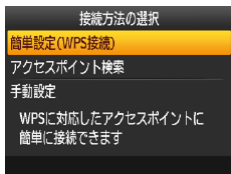
4 プリンター名を確認する

- 表示されているプリンター名を確認して<OK>を押します。
- 編集ボタンを押してプリンター名を変えることもできます(📖95)。



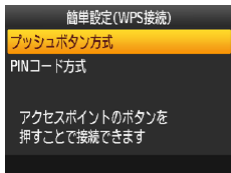
5 接続方法を選ぶ

- <▲> か <▼> を押して「アクセスポイント経由接続」を選び、<OK>を押します。



6 アクセスポイントへの接続方法を選ぶ

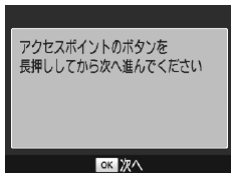
- <▲> か <▼> を押して [簡単設定 (WPS 接続)] を選び、<OK> を押します。



7 WPS の接続方法を選ぶ

- <▲> か <▼> を押して [プッシュボタン方式] を選び、<OK> を押します。

- 左の画面が表示されます。





8 アクセスポイントの WPS 接続用のボタンを数秒間押したままにする

- ボタンの位置および押す時間は、アクセスポイントの使用説明書で確認してください。

9 接続をはじめる

- セルフィーの <OK> を押します。
- セルフィーの画面に [接続中] が表示されたあと、接続できると [アクセスポイントとの接続が完了しました] が表示されるので <OK> を押します。
- 左の画面が表示されます。画面にはアクセスポイント名が表示されます。



- 手順 7 で [PIN コード方式] を選んだときは、セルフィーの画面に表示された PIN コードをアクセスポイントに設定したあと、セルフィーの <OK> を押して手順 9 に進んでください。PIN コードの設定方法は、アクセスポイントの使用説明書を確認してください。
- 画面には電波の状態を示す以下のアイコンが表示されます。
[] 強、[] 中、[] 弱、[] 微弱、[] 圏外

■ アクセスポイントが WPS に対応していないとき

1 アクセスポイントを確認する

- アクセスポイントの電源が入っていて通信できる状態であることを確認します。

2 セルフィーの準備をする

- カードや USB メモリーを差し込んでいるときは抜きます。
- 印刷したい用紙が入ったペーパーカセットとインクを、セルフィーに入れます (16 ~ 21)。

3 設定画面を表示する

- <☰> を押します。
- <▲> か <▼> を押して [Wi-Fi 設定] を選び、<OK> を押します。
- <▲> か <▼> を押して [接続設定] を選び、<OK> を押します。





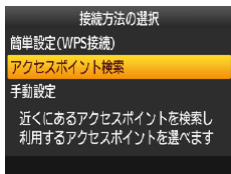
4 プリンター名を確認する

- 表示されているプリンター名を確認して<OK>を押します。
- 編集ボタンを押してプリンター名を変えることもできます(📖95)。



5 接続方法を選ぶ

- <▲> か <▼> を押して「アクセスポイント経由接続」を選び、<OK>を押します。



6 アクセスポイントへの接続方法を選ぶ

- <▲> か <▼> を押して [アクセスポイント検索] を選び、<OK> を押します。
- アクセスポイントが検索されて、近くにあるアクセスポイントの一覧が表示されます。



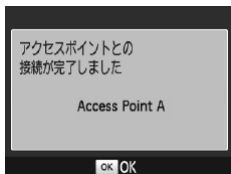
7 アクセスポイントを選ぶ

- <▲> か <▼> を押してアクセスポイントを選び、<OK> を押します。



8 パスワードを入力する

- 編集ボタンを押して文字入力の画面を表示し、パスワードを入力します (97)。
- <OK> を押します。



9 アクセスポイントを確認する

- アクセスポイントとつながると左の画面が表示されるので、表示されたアクセスポイントの名前を確認して、<OK> を押します。



- 左の画面が表示されます。



- 手順 7 で、セキュリティ設定されていないアクセスポイントを選んで **<OK>** を押すと手順 9 の画面が表示されます。
- アクセスポイントは 20 個まで表示されます。つなぎたいアクセスポイントが見つからないときは、**<⏮>** を押してから [85](#) の手順 6 で [手動設定] を選ぶと、アクセスポイントを手動で設定できます。画面の指示にしたがって SSID の入力、セキュリティー設定、パスワードの入力を行ってください ([97](#))。
- セキュリティが WEP のときは、手順 8 でパスワードの入力を誤ると、**<OK>** を押したときにメッセージが表示され、もう一度 **<OK>** を押すと手順 9 の画面に進めますが、印刷はできません。アクセスポイントのパスワードを確認して、手順 3 から接続しなおしてください。
- 画面には電波の状態を示す以下のアイコンが表示されます。
[] 強、[] 中、[] 弱、[] 微弱、[] 圏外

2 回目からの接続



- 一度アクセスポイントに接続すると、セルフイーの電源を入れ直したときに、前回接続したアクセスポイントに自動的に接続されて、左の画面（待機画面）が表示されます。

- アクセスポイントの電源が入っていないなどで接続できなかったときは、[Yx] が表示されるので、アクセスポイントの設定を見なおしてください (📖114)。
- 待機画面が表示されているときでも、カードを差し込むと📖29 の手順 4 の画面が表示されてカード内の画像を印刷できます。
- 電源を入れたときにアクセスポイントに自動で接続しないようにもできます (📖94)。

パソコンから画像を印刷する (Windows)

セルフイーと Wi-Fi で接続できるパソコンの OS は以下の通りです。

- Windows 8.1
- Windows 8
- Windows 7 SP1



1 セルフイーがアクセスポイントに接続されていることを確認する

- セルフイーに左の画面が表示されていることを確認します。

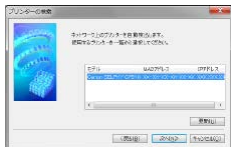
2 プリンタードライバをインストールする

- 付属の CD-ROM をパソコンに入れて、[コンピューター / PC] 内に表示される CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。
- [Driver] フォルダをダブルクリックしたあと、[cp1200-100-9l.exe] をダブルクリックします。
- 表示される画面にしたがって操作を進めます。
- [ユーザーアカウント制御] の画面が表示されたときは、表示されるメッセージにしたがって進めてください。



3 接続方法を選ぶ

- 左の画面が表示されたら、[無線ネットワークで使用する] をチェックして、[次へ] をクリックします。



4 接続するプリンターを選んでインストールを終える

- リストで接続するプリンターを選び、[次へ] をクリックします。
- プリンタードライバがインストールされます。



5 印刷画面を表示する

- 印刷に使う画像閲覧／編集ソフトを起動して、印刷する画像を選び、印刷画面を表示します。
- 出力先のプリンターとして「Canon SELPHY CP1200」を選びます。

6 印刷オプションを選ぶ

- 用紙サイズには、セルフイーに入れたペーパーカセットとインクのサイズを選びます。なお、フチあり／フチなしも、用紙サイズとの組み合わせで表示される一覧から選んでください。

- 印刷の向きや部数を指定することもできます。

7 印刷する



- 印刷中は、セルフイーの<⏏>で印刷を中止できません。パソコンを操作して中止してください。
- パソコンや画像閲覧／編集ソフトの操作方法については、それぞれの使用説明書を参照してください。

パソコンから画像を印刷する (Mac OS)

AirPrint を使ってパソコンから印刷することができます。接続できるパソコンの OS は以下の通りです。

- Mac OS X v10.8 ～



1 セルフィーがアクセスポイントに接続されていることを確認する

- セルフィーに左の画面が表示されていることを確認します。

2 印刷画面を表示する

- 印刷に使う画像閲覧／編集ソフトを起動して、印刷する画像を選び、印刷画面を表示します。
- 出力先のプリンターとして「Canon SELPHY CP1200」を選びます。

3 印刷オプションを選ぶ

- 用紙サイズ、向き、部数を設定します。
- L サイズで印刷するときは、用紙サイズで [89 x 119 mm] を選びます。
- P サイズで印刷するときは、用紙サイズで [はがき] を選びます。
- C サイズで印刷するときは、用紙サイズで [54 x 86 mm] を選びます。

4 印刷する

- [プリント] をクリックして印刷します。



- 印刷中は、セルフイーの <↔> で印刷を中止できません。パソコンを操作して中止してください。
- パソコンや画像閲覧／編集ソフトの操作方法については、それぞれの使用説明書を参照してください。
- 手順 4 の L サイズで「89 x 119 mm」が選べないときは、用紙サイズで [カスタム] を選び、カスタム用紙サイズで幅 89 mm、高さ 119 mm を入力します。また、C サイズで「54 x 86 mm」が選べないときは、幅 54 mm、高さ 86 mm を入力します。
- Mac OS で出力先のプリンター名として「Canon SELPHY CP1200」を選べないときは、次の操作でパソコンにセルフイーを登録してください。
 - ① [システム環境設定] から [プリンタとスキャナ] または [プリントとスキャン] を開きます。
 - ② リストの下 [+] をクリックします。
 - ③ 「Canon SELPHY CP1200」を選びます。
 - ④ [追加] をクリックします。

その他の Wi-Fi 機能

ダイレクト接続のパスワードに関する設定をする

パスワードを変えたり、パスワードを入力しなくても接続できるように設定できます。

- <国> を押したあと <▲> か <▼> を押して [Wi-Fi 設定] を選び <OK> を押します。
- <▲> か <▼> を押して [接続方法] を選び <OK> を押します。
- <▲> か <▼> を押して [ダイレクト接続] を選び <OK> を押します。
- <編集> を押します。
- パスワードを変えるときは、<▲> か <▼> を押して [パスワード編集] を選び <OK> を押したあと、<編集> を押して文字を入力します (📖97)。
- パスワードを入力しなくても接続できるようにするときは、<▲> か <▼> を押して [パスワード] を選び <OK> を押したあと、[切] を選んで <OK> を押します。



- パスワードを [切] にすると、悪意ある第三者によってセルフィーに不正に接続されてしまう恐れがあります。
- 通常は、[入] の状態でお使いいただくことをおすすめします。

接続方法を変える

使い方に応じて接続方法を変えることができます。

- <国> を押したあと <▲> か <▼> を押して [Wi-Fi 設定] を選び <OK> を押します。
- <▲> か <▼> を押して [接続方法] を選び、<OK> を押します。
- <▲> か <▼> を押して接続方法を選び <OK> を押します。

Wi-Fi を使わない

Wi-Fi 接続をしないようにできます。

- <国> を押したあと <▲> か <▼> を押して [Wi-Fi 設定] を選び <OK> を押します。
- <▲> か <▼> を押して [Wi-Fi] を選び、<OK> を押します。
- <▲> か <▼> を押して [無効] を選び <OK> を押します。
- もう一度 Wi-Fi 接続をするようにするには、同じ手順で [有効] を選びます。

Wi-Fi の設定情報を確認する

プリンター名や IP アドレスなどの情報を確認できます。

- <国> を押したあと <▲> か <▼> を押して [Wi-Fi 設定] を選び <OK> を押します。
- <▲> か <▼> を押して [設定情報の確認] を選び、<OK> を押します。
- <▲> か <▼> を押して設定情報を確認します。
- 戻るときは <↶> を押します。

プリンター名を変える

プリンター名 (📖84) を変えることができます。

- <☒> を押したあと <▲> か <▼> を押して [Wi-Fi 設定] を選び <OK> を押します。
- <▲> か <▼> を押して [その他の設定] を選び、<OK> を押します。
- <▲> か <▼> を押して [プリンター名の設定] を選び、<OK> を押します。
- 編集ボタンを押して文字入力画面を表示し、プリンター名を入力します (📖97)。

通信プロトコルを設定する

IP バージョンを選べます。

1 IP バージョンを選ぶ

- <国> を押したあと <▲> か <▼> を押して [Wi-Fi 設定] を選び <OK> を押します。
- <▲> か <▼> を押して [その他の設定] を選び、<OK> を押します。
- <▲> か <▼> を押して [IPv4/IPv6 設定] を選び、<OK> を押します。
- <▲> か <▼> を押して項目を選び、<OK> を押します。
- 表示された画面を確認し、<OK> を押します。
- [IPv4] を選んだときは手順 2 に進みます。
- [IPv6] を選んだときは、[有効] または [無効] を選んで <OK> を押します。

2 IP アドレスを自動で取得するかどうかを選ぶ

- IP アドレスを自動で取得するときは [自動] を選び、<OK> を押すと設定が完了します。
- IP アドレスを手動で入力するときは [手動] を選び、<OK> を押して、手順 3 に進みます。

3 IP アドレスを入力する

- <◀> か <▶> を押して桁を選び、<▲> か <▼> を押して値を設定したあと、<OK> を押します。

4 サブネットマスクを入力する

- <◀> か <▶> を押して桁を選び、<▲> か <▼> を押して値を設定したあと、<OK> を押します。

5 設定内容を確認する

- 表示された設定内容を確認して **<OK>** を押します。



- ダイレクト接続しているときは、[IPv6] は選べません。

Wi-Fi の設定を初期化する

設定したプリンター名、アクセスポイントの情報、パスワードなど Wi-Fi の設定を初期化できます。

- **<国>** を押したあと、**<▲>** か **<▼>** を押して [Wi-Fi 設定] を選び、**<OK>** を押します。
- **<▲>** か **<▼>** を押して [設定の初期化] を選び、**<OK>** を押します。
- 画面の内容を確認して、**<OK>** を押します。

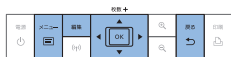
文字入力の方法

プリンター名やパスワードなどを設定するときは、編集ボタンを押して表示される文字入力の画面を使います。



文字を入力する

- **<▲><▼><◀><▶>** を押して文字を選び、**<OK>** を押します。
[空白] を選んで **<OK>** を押すと、スペースを入力できます。



文字を削除する

- <▲><▼><◀><▶> を押して
[✖] を選び、<OK> を押します。

文字の種類を切り替える

- 編集ボタンを押すと、アルファベット（大文字）、アルファベット（小文字）、記号の順に文字の種類が切り替わります。

元の画面に戻る

- <▲><▼><◀><▶> を押して
[入力完了] を選び、<OK> を押すと、入力した文字が設定されて、元の画面に戻ります。
- <↩> を押すと、元の文字列のまま、元の画面に戻ります。

ケーブル接続での印刷

セルフィーをパソコンやカメラに USB ケーブルでつないで印刷する方法について説明しています。


パソコンからの印刷（Windows）

Windows 7 を使ったときを例に説明しています。セルフイーと接続できるパソコンの OS は以下の通りです。

- Windows 8.1
- Windows 8
- Windows 7 SP1

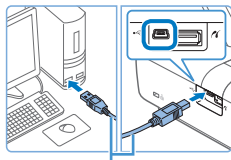
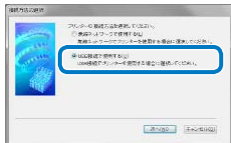
パソコンの準備をする

用意するもの

- パソコン
- 付属の CD-ROM（SELPHY CP1200 Solution Disk）（2）
- USB ケーブル（長さが 2.5 m 以下の市販品）（セルフイー側端子は Mini-B）

1 プリンタードライバをインストールする

- 付属の CD-ROM をパソコンに入れて、[コンピューター / PC] 内に表示される CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。
- [Driver] フォルダをダブルクリックしたあと、[cp1200-100-9l.exe] をダブルクリックします。
- 表示される画面にしたがって操作を進めます。
- [ユーザーアカウント制御] の画面が表示されたときは、表示されるメッセージにしたがって進めてください。



市販のUSBケーブル

2 接続方法を選ぶ

- 左の画面が表示されたら、[USB接続で使用する] をチェックして、[次へ] をクリックします。

3 左の画面が表示されたら、セルフイーを準備して、パソコンとつなぐ

- セルフイーの電源が入っているときは電源を切り、カードや USB メモリーを差し込んでいるときは抜きます。
- 印刷したい用紙が入ったペーパーカセットとインクを、セルフイーに入れます (16 ~ 21)。
- USB ケーブルでセルフイーとパソコンをつなぎます。USB ケーブルの使いかたや、パソコンとのつなぎかたについては、それぞれの使用説明書を参照してください。



4 セルフィーの電源を入れてインストールを終える

- <電源> を押して、電源を入れます。
- プリンタードライバがインストールされます。

5 セルフィーを準備する

- カードや USB メモリーを差し込んでいるときは抜きます。
- 印刷したい用紙が入ったペーパーカセットとインクを、セルフィーに入れます ([16](#) ~ [21](#))。
- セルフィーとパソコンをつないでいないときは、セルフィーの電源をいったん切ってから、USB ケーブルでつなぎ ([101](#))、電源を入れます。

6 印刷画面を表示する

- 印刷に使う画像閲覧／編集ソフトを起動して、印刷する画像を選び、印刷画面を表示します。
- 出力先のプリンターとして「Canon SELPHY CP1200」を選びます。

7 印刷オプションを選ぶ

- 用紙サイズには、セルフイーに入れたペーパーカセットとインクのサイズを選びます。なお、フチあり／フチなしも、用紙サイズとの組み合わせで表示される一覧から選んでください。
- 印刷の向きや部数を指定することもできます。

8 印刷する



- セルフイーの <↩> では印刷を中止できません。印刷を中止するときは、パソコンを操作して印刷ジョブを削除してください。
- USB ハブを介してセルフイーとパソコンをつなぐと、正しく動作しないことがあります。
- セルフイーをパソコンの USB ポートにつないでいる状態で、パソコンをスリープ（または休止状態）にしないでください。セルフイーをパソコンの USB ポートにつないでいる状態でパソコンをスリープにしてしまったときは、USB ケーブルをパソコンにつないだまま、スリープから回復してください。ただし、正しく回復できないときは、パソコンを再起動してください。
- パソコンや画像閲覧／編集ソフトの操作方法については、それぞれの使用説明書を参照してください。

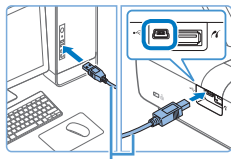


- セルフイーにエラーメッセージが表示されたときは、パソコンの画面（デスクトップモード）に表示されるメッセージも確認してください。なお、表示された問題を解決すると、メッセージは自動で消えます。
- パソコンの画面にメッセージが表示されているときは、[中止] をクリックして印刷を中止することもできます。

パソコンからの印刷（Mac OS）

AirPrint を使ってパソコンから印刷することができます。接続できるパソコンの OS は以下の通りです。

- Mac OS X v10.8 ～



市販の USB ケーブル

1 セルフィーを準備して、パソコンとつなぐ

- カードや USB メモリーを差し込んでいるときは抜きます。
- 印刷したい用紙が入ったペーパーカセットとインクを、セルフィーに入れます（[16](#)～[21](#)）。

2 印刷画面を表示する

- 印刷に使う画像閲覧／編集ソフトを起動して、印刷する画像を選び、印刷画面を表示します。
- 出力先のプリンターとして「Canon SELPHY CP1200」を選びます。

3 印刷オプションを選ぶ

- 用紙サイズ、向き、部数を設定します。
- L サイズで印刷するときは、用紙サイズで[89 x 119 mm]を選びます。
- P サイズで印刷するときは、用紙サイズで[はがき]を選びます。
- C サイズで印刷するときは、用紙サイズで[54 x 86 mm]を選びます。

4 印刷する

- [プリント] をクリックして印刷します。



- セルフィーの <↔> では印刷を中止できません。印刷を中止するときは、パソコンを操作して印刷ジョブを削除してください。
- USB ハブを介してセルフィーとパソコンをつなぐと、正しく動作しないことがあります。
- セルフィーをパソコンの USB ポートにつないでいる状態で、パソコンをスリープ（または休止状態）にしないでください。セルフィーをパソコンの USB ポートにつないでいる状態でパソコンをスリープにしてしまったときは、USB ケーブルをパソコンにつないだまま、スリープから回復してください。ただし、正しく回復できないときは、パソコンを再起動してください。
- パソコンや画像閲覧／編集ソフトの操作方法については、それぞれの使用説明書を参照してください。



- 手順3のLサイズで「89 x 119 mm」が選べないときは、用紙サイズで「カスタム」を選び、カスタム用紙サイズで幅 89 mm、高さ 119 mm を入力します。また、Cサイズで「54 x 86 mm」が選べないときは、幅 54 mm、高さ 86 mm を入力します。
- セルフィーにエラーメッセージが表示されたときは、パソコンの画面（デスクトップモード）に表示されるメッセージも確認してください。なお、表示された問題を解決すると、メッセージは自動で消えます。
- パソコンの画面にメッセージが表示されているときは、[中止] をクリックして印刷を中止することもできます。
- Mac OS で出力先のプリンター名として「Canon SELPHY CP1200」を選べないときは、次の操作でパソコンにセルフィーを登録してください。
 - ① [システム環境設定] から [プリンタとスキャナ] または [プリントとスキャン] を開きます。
 - ② リストの下 [+] をクリックします。
 - ③ 「Canon SELPHY CP1200」を選びます。
 - ④ [追加] をクリックします。

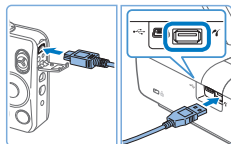
カメラからの印刷

PictBridge に対応したカメラをつなぐと、カメラで選んだ画像を印刷することができます。

ここでは、例としてキヤノン製コンパクトデジタルカメラをつないだ印刷方法を説明しますが、お使いになるカメラと操作方法が異なるときは、カメラの使用説明書を参照してください。

1 セルフィーを準備する

- セルフィーにカードが差し込まれていないことを確認します。



2 USB ケーブル (📖 100) でセルフィーとカメラをつなぐ

3 セルフィー、カメラの順に電源を入れ、カメラの画像を再生する

- お使いになるカメラによっては、カメラの画面に  が表示されます。

4 カメラで画像を選び、印刷に必要な操作をする

- カメラを操作して印刷をはじめます。
- すべての印刷が終わったら、セルフィーとカメラの電源を切り、ケーブルを外します。





- 印刷中は、セルフイーの<⏮>で印刷を中止できません。カメラを操作して中止してください。
- この製品は、USB 経由での PictBridge (ピクトブリッジ) で印刷できます。
PictBridge とは、カメラとプリンターなどの対応機器を直接つないでかんたんに印刷するための規格です。なお、ネットワーク環境でも PictBridge を利用できる DPS over IP (ディーピーエス オーバー アイピー) という規格が制定され、本製品はその規格に対応しています。

カメラで指定した画像を印刷する (DPOF 印刷)

カメラで DPOF 設定したカードを、カード差し込み口に差し込むと、[印刷指定画像 (DPOF) があります 印刷しますか?] と画面に表示されます。<OK> を押すとあらかじめカメラで設定した内容が表示され、<🖨> を押すと印刷指定されている画像をまとめて印刷することができます。



- カメラでの設定方法については、お使いのカメラの使用説明書を参照してください。
- 日付や画像番号は、カメラで設定した DPOF 情報になります (セルフイーでは変えられません)。
- キヤノン製デジタルカメラで [印刷タイプ] を [スタンダード] に設定しているときは、「設定の変更」(47 ~ 64) の機能を適用することができます。
- <🇯🇵> を押して [DPOF 印刷] を選び、<OK> を押すことでも、あらかじめカメラで設定した内容を表示できます。
ただし、カメラで DPOF の設定をしたカードを差し込まないと、メニュー画面に [DPOF 印刷] は表示されません。

故障かな？と思ったら

「セルフィーが故障したのかな？」と考える前に、ここに記載の例を参考に確認してください。ただし、問題が解決しないときは、修理受付センターへご相談ください。

電源

電源が入らない

- 電源が正しくつながっているか確認してください (📖22)。
- 画面が表示されるまで、<⏻> を押したままにしてください (📖24)。
- バッテリーパックをお使いのときは、バッテリーが充電されていることや、正しく取り付けられていることを確認してください。

画面

画像表示画面が表示されない (📖62)

- 証明写真の設定画面が表示されているときは <国> を押してメニューを表示し、<▲> か <▼> を押して [えらんで印刷] を選び、<OK> を押します。

印刷

印刷できない

- セルフィーの電源が入っているか確認してください (📖24)。
- インクやペーパーカセットが正しく入っているか確認してください (📖21)。
- インクシートがたるんでいないか確認してください (📖16)。
- 指定された専用用紙以外を使っていないか確認してください (📖20)。
- インクがないときは新しいインクに交換し、用紙がないときは新しい用紙をペーパーカセットに入れてください (📖30)。
- 用紙とペーパーカセット、インクの組み合わせが正しいか確認してください (📖16)。

カードや USB メモリー内の画像が表示されない／印刷できない

- カードが正しい差し込み口に、ラベル面を上にして奥まで入っているか確認してください (📖26、28)。
- USB メモリーが正しい差し込み口に、正しい向きで奥まで入っているか確認してください (📖32)。
- 対応画像か確認してください (📖27)。
- 専用のアダプターを使わずに、カードをカード差し込み口に差し込んでいないか確認してください (📖26)。

カメラから印刷できない

- カメラが PictBridge に対応しているか確認してください (📖107)。
- Wi-Fi でつないで印刷するときは、セルフイーとアクセスポイント、カメラとアクセスポイントが正しくつながっているか確認してください (📖73)。
- USB ケーブルでつないで印刷するときは、セルフイーとカメラを USB ケーブルで直接つないでいるか確認してください (📖107)。
- カメラのバッテリーや電池の残量を確認してください。残量がないときは、フル充電されたバッテリーまたは新品の電池に取りかえてください。
- セルフイーにカードや USB メモリーを差し込んでいるときは抜いてください。

パソコンから印刷できない

- 正しい手順でプリンタードライバをインストールしているか確認してください (📖100)。
- カードや USB メモリーを差し込んでいるときは抜いてください。
- Wi-Fi でつないで印刷するときは、セルフイーとアクセスポイント、パソコンとアクセスポイントが正しくつながっているか確認してください (📖79)。
- USB ケーブルでつないで印刷するときは、セルフイーとパソコンを USB ケーブルで直接つないでいるか確認してください (📖101)。
- Windows をお使いのときは、プリンターがオフラインになっていないか確認してください。オフラインになっているときは、プリンターのアイコンを右クリックし、オフラインの設定を解除してください。
- Mac OS をお使いのときは、プリンターリストにお使いのセルフイーが登録されているか確認してください (📖91、104)。

カードや USB メモリー内の画像に日付や画像番号を入れて印刷できない

- 日付や画像番号を入れて印刷する設定を行っているか確認してください (📖59)。
DPOF 印刷を行うときは、日付や画像番号の設定は DPOF を設定したカメラで行います。

カメラ内の画像に日付や画像番号を入れて印刷できない

- カメラで日付や画像番号の設定が [入] になっているか確認してください。なお、「標準設定」に設定したときは、セルフイーの日付や画像番号印刷の設定が反映されます。

きれいに印刷できない

- インクシートや用紙が汚れていないか確認してください。
- セルフイー内部にホコリなどが付着していないか確認してください (📖124)。
- セルフイーに結露が発生していないか確認してください (📖124)。
- 電磁波や強い磁気を出している機器の近くに置いていないか確認してください (📖22)。

画面の色と印刷された色が違う

- 画面と印刷では、発色の方法が異なります。また、画面を見ているときの環境（明かりの色や強さ）や、画面の色の調整によっても違ってきます。

用紙の一部に小さく印刷される

- [レイアウト] の設定 (📖51) を見直してください。[レイアウト] で [1 面配置] 以外を選んでいるときは、複数の画像を同時に送信できないカメラなどから印刷すると、用紙の一部しか印刷されません。

印刷に時間がかかる

- セルフィーは一定温度以上になると、一時的に印刷が停止しますが故障ではありません。温度が下がるまでしばらくお待ちください。なお、「連続して印刷するとき」、「周囲の温度が高いとき」、「セルフィー背面の通風孔 ([図 11](#)) がふさがれるなどして、セルフィー内部の温度が高いとき」は、印刷が一時休止されるため、印刷時間が通常より長くなります。
- お使いの環境によっては印刷に時間がかかることがあります。そのときは印刷方法 (カードからの印刷、Wi-Fi を使った印刷、USB ケーブルを使った印刷) をかえて印刷してください。

用紙

用紙がカセットに入らない

- 用紙のサイズとペーパーカセットのサイズがあっているか確認してください ([図 3](#))。

きちんと紙送りされない／よく紙が詰まる

- 用紙やペーパーカセットが正しくセットされているか確認してください ([図 18](#)、[21](#))。
- ペーパーカセットに 19 枚以上の用紙を入れていないか確認してください。
- ペーパーカセットの上に印刷済みの用紙を 19 枚以上ためていないか確認してください。
- 指定された専用用紙以外を使っていないか確認してください ([図 20](#))。

枚数分印刷できない／用紙があまる

- インクが足りなくなることにより用紙が余ってしまうことがあります ([図 31](#))。

用紙が出てこない

- 用紙の一部がセルフィーの前や後ろ (一時排紙口) ([図 11](#)) より出ているときは、用紙を持って取り出してください。ただし、用紙を軽くつまむ程度の力で取り出せないときは、絶対に無理に引っ張らないでください。そのときは、電源を一度切り、もう一度入れなおす操作を、用紙が出てくるまで繰り返してください。印刷中に誤って電源を切ってしまったときは、もう一度電源を入れて、用紙が出てくるまで待ちます。用紙が詰まったときは、お買い上げになった販売店または修理受付センターにご相談ください。無理に用紙を取り出そうとすると、故障の原因となります。

Wi-Fi

Wi-Fi の電波状態が悪くなるため、電子レンジや Bluetooth など、2.4GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。

スマートフォンやカメラをつなごうとしても、本機器の SSID（ネットワーク名）が表示されない

- 接続方法として [ダイレクト接続] を選んでください (📖68、74)。
- セルフィーとスマートフォンやカメラを近づけて、その間に物を置かないでください。

セルフィーにアクセスポイントが表示されない

セルフィーをアクセスポイントに接続できない

- 接続方法として [アクセスポイント経由接続] を選んでください (📖79)。
- アクセスポイントの電源が入っており、通信できる状態であることを確認してください。確認方法は、アクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- ほかのアクセスポイントが多く、つなぎたいアクセスポイントが一覧に表示されていないときは、簡単設定 (WPS 接続) (📖79) または手動設定 (📖87) で接続してください。
- セルフィーとアクセスポイントを近づけて、その間に物を置かないでください。
- パスワードが正しいことを確認してもう一度接続してください。
- アクセスポイントのチャンネルが 1 ~ 11ch に設定されていることを確認してください。チャンネルを自動選択するように設定しているときは、1 ~ 11ch のどれかに手動で固定することをお勧めします。設定の確認や変更方法については、アクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- アクセスポイントで MAC アドレスフィルタリングや IP フィルタリングを設定しているときは、[設定情報の確認] (📖94) で確認したセルフィーの情報をアクセスポイントに登録してください。また、プライバシーセパレーター機能はオフにしてください。
なお、設定の確認や変更方法については、アクセスポイントの使用説明書を参照してください。
- セキュリティ設定が WEP のネットワークで、DHCP 機能を使用していないときは、IP アドレスを手動で設定してください (📖96)。

Wi-Fi で接続できない

- セルフィーの電源を一度切ってから、もう一度電源を入れてください。それでも接続ができないときは、Wi-Fi でつなぐ相手の機器やアクセスポイントの設定を確認してください。
- [簡単設定 (WPS 接続)] で接続できないときは、[アクセスポイント検索] (📖83) または [手動設定] (📖87) で接続してください。

アクセスポイントに接続できるのに印刷できない

- カードや USB メモリーを差し込んでいるときは抜いてください。
- ほかの機器から印刷しているときやカメラを接続しているときは印刷できません。
- スマートフォンから印刷するときは、Canon PRINT Inkjet/SELPHY をインストールしてください (📖66)。
- 画像を送る機器 (スマートフォン、カメラ、パソコン) が、セルフィーと同じアクセスポイントに接続されていることを確認してください。
- アクセスポイントのパスワードを確認して、接続しなおしてください (📖88)。
- 正しいパスワードを入力しても <OK> を押したときにメッセージ (📖87) が表示される場合は、アクセスポイントで DHCP サーバーの機能を有効にするか、セルフィーで正しく IP アドレスなどを設定してください (📖96)。

印刷に時間がかかる／Wi-Fi 接続が切断される

- Wi-Fi の電波状態が悪くなるため、電子レンジや Bluetooth など、2.4GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
なお、[📶] が表示されていても、画像の送信に時間がかかることがあります。
- ダイレクト接続 (📖66、73) では、セルフィーとスマートフォンやカメラを近づけて、その間に物を置かないでください。
- アクセスポイント経由接続 (📖79) では、セルフィーとアクセスポイントを近づけて、その間に物を置かないでください。

パソコンから Wi-Fi で接続できない

- Windows ではドライバーをインストールしてください。
- Windows の「ネットワーク検索」を有効にしてください。
- Mac OS ではパソコンにセルフィーを登録してください (📖91)。

スマートフォンやカメラをつなごうとするとメッセージが表示される

- [ダイレクト接続] で接続できる機器は 8 台までです。8 台の機器を接続しているときに、別の機器を接続しようするとメッセージが表示されます。このときは、すでに接続されている機器を操作してセルフイーとの接続を切断したあと、セルフイーの <OK> を押してメッセージを消し、新しく接続したい機器を操作して接続してください。なお、すでに接続されている機器で操作できないときは、セルフイーの電源をいったん切って、すべての機器の接続を切断してから電源を入れなおしてください。

エラーメッセージが表示されたら

セルフイーに不具合が発生すると、画面にエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージと一緒に対応方法が表示されたときは、対応方法にしたがって操作してください。また、エラーメッセージのみのときは、「故障かな? と思ったら」(📖 109) の例を参考に確認してください。

なお、問題が解決しないときは、別紙の修理受付センターへご相談ください。



- セルフイーと他の機器をつないでいるときは、他の機器の画面にもエラーメッセージが表示されることがありますので、あわせて確認してください。

付録

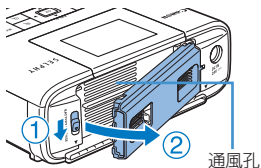
別売のバッテリーを使ってコンセントのない場所で印刷する方法、セルフイーの仕様や取り扱いについて説明しています。

コンセントのない場所での印刷

バッテリーパック NB-CP2LH (別売) を使うと、コンセントのない場所でも画像を印刷することができます。なお、フル充電したバッテリーで、ポストカードサイズ用の紙を約 54 枚印刷*することができます。

* 印刷枚数は当社測定条件によります。また、印刷条件により異なることがあります。

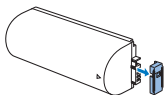
バッテリーを取り付ける



1 バッテリー取付け部カバーを取りはずす

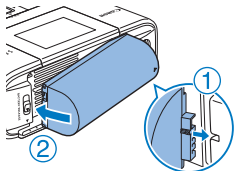
- ① の方向へスイッチを動かしたまま、② の方向へ動かしてははずします。

2 バッテリーの端子カバーをはずす







3 バッテリーを取り付ける

- ① の方向へ差し込んだあと、② の方向へ「カチッ」と音がして、ロックされるまで動かして取り付けます。








- バッテリーパック NB-CP2L (別売) もお使いになれます。なお、フル充電したバッテリーで、ポストカードサイズ用の紙を約 36 枚印刷することができます。印刷枚数は当社測定基準によります。また、印刷条件により異なることがあります。

バッテリーを充電してセルフイーを使う

- セルフィーに電源をつなぐ (📖22) と、充電がはじまり、 が画面に点滅表示されます。
- 充電は約 4 時間 (常温の環境下において) で完了し、 が消えます。
-  の点滅中でも電源を入れて (📖22) セルフィーを使うことができます。ただし、充電は中断されます。電源を切ると  が点滅表示されて充電が再開されます。



- バッテリーの注意事項については、バッテリーに付属の使用説明書を参照してください。
-  が表示されたときは、動作温度 (📖121) の環境にセルフィーを置き、周囲の温度になじませてから、充電してください。
-  が赤く表示されたときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
-  が表示されている状態で、<🔌> 以外のボタンを約 3 秒以上押すと、 の表示が消えます。また、画面が消えている状態でも充電中のときは、<🔌> 以外のボタンを押すと、約 10 秒間だけ  が表示されます。

主な仕様

印刷方式	昇華型熱転写方式（オーバーコートつき）	
印刷解像度	300 × 300dpi	
階調色	256 階調／色	
インク	専用カラーインク（Y/M/C ／オーバーコート）	
用紙	ポストカードサイズ（写真用紙）、L サイズ（写真用紙）、カードサイズ（写真用紙、全面シール紙、8 分割シール紙、正方形シール紙）	
用紙サイズ	ミシン目切り取り前	ミシン目切り取り後
ポストカードサイズ	100.0 × 177.0mm	100.0 × 148.0mm
L サイズ	89.0 × 148.0mm	89.0 × 119.0mm
カードサイズ	83.0 × 86.0mm	54.0 × 86.0mm
全面シール紙	54.0 × 86.0mm	—
8 分割シール 1 枚あたり	22.0 × 17.3mm	—
正方形シール紙	54.0 × 54.0mm	—
印刷時間* 1		
ポストカードサイズ	約 47 秒	（約 58 秒）* 2
L サイズ	約 39 秒	（約 49 秒）* 2
カードサイズ	約 27 秒	（約 32 秒）* 2
給紙方式	ペーパーカセットからの自動給紙	
排紙方式	ペーパーカセット上面へ自動排紙	
画面	チルト式 2.7 型 TFT 液晶カラーモニター	

インターフェース

Hi-Speed USB	PictBridge 対応機器：TypeA パソコン接続時：Mini-B
メモリーカード	SD（エスディー）メモリーカード、SDHC（エスディーエイチシー）メモリーカード、SDXC（エスディーエックスシー）メモリーカード、miniSD（ミニエスディー）メモリーカード* ³ 、miniSDHC（ミニエスディーエイチシー）メモリーカード* ³ 、microSD（マイクロエスディー）メモリーカード* ³ 、microSDHC（マイクロエスディーエイチシー）メモリーカード* ³ 、microSDXC（マイクロエスディーエックスシー）メモリーカード* ³
無線	規格：IEEE802.11b/g 対応チャンネル：1～11ch 通信モード：インフラストラクチャーモード* ⁴ 伝送方式：DSSS（IEEE802.11b）、OFDM（IEEE802.11g） セキュリティ：セキュリティなし、WEP、WPA-PSK（AES/TKIP）、WPA2-PSK（AES/TKIP）
USB メモリー	FAT / exFAT のみ対応
動作温度	5～40℃
動作湿度	20～80%
電源	コンパクトパワーアダプター CA-CP200 B バッテリーパック NB-CP2LH（別売）
消費電力	60W 以下（待機時は 4W 以下）
大きさ	180.6 × 63.3 × 135.9mm
質量（本体のみ）	約 860g

*1 イエロー面の印刷開始から排紙完了まで

*2 括弧内は「表面仕上げ」で「パターン 1」、「パターン 2」、「パターン 3」のどれかを選んだとき

*3 専用アダプター（市販品）が必要

*4 Wi-Fi Protected Setup に対応

■ コンパクトパワーアダプター CA-CP200 B

定格入力	AC100 ~ 240V (50/60Hz) 1.0A (100V) ~ 0.6A (240V)
定格出力	DC24V、1.8A
使用温度範囲	0 ~ 40℃

■ バッテリーパック NB-CP2LH (別売)

形式	リチウムイオン電池
公称電圧	DC22.2V
公称容量	1290mAh
充放電回数	約 300 回
使用温度範囲	5 ~ 40℃

■ バッテリーパック NB-CP2L (別売)

形式	リチウムイオン電池
公称電圧	DC22.2V
公称容量	1200 mAh
充放電回数	約 300 回
使用温度範囲	5 ~ 40℃

- 記載データはすべて当社試験基準によります。
- 製品の仕様および、外観の一部を予告なく変更することがあります。



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

注意

指定外のバッテリーを使うと、爆発などの危険があります。使用済みのバッテリーは、各自治体のルールにしたがって処分してください。



Li-ion

- 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。
- 詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

ホームページ : <http://www.jbrc.com>

- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

アクセサリはキャノン純正品のご使用をおすすめします

本製品は、キャノン純正の専用アクセサリと組みあわせてお使いになったときに最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キャノン純正アクセサリのご使用をおすすめいたします。なお、純正品以外のアクセサリの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキャノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

日ごろの取り扱いについて

- 強い力や振動を加えないでください。紙詰まりや故障の原因になります。
- 殺虫剤や揮発性物質がかからないようにしてください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。外装が変質することがあります。
- セルフィーを寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、セルフィーをビニール袋に入れて密封しておき、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。万が一、結露が発生したときは、水滴が自然に消えるまで、常温で放置してからお使いください。
- セルフィーが汚れたときは、やわらかい乾いた布で拭いてください。
- 通風孔 (📖 11) にホコリがついたときは、インクを取り外して (📖 30) からホコリをとってください。通風孔からホコリが入ると、きれいに印刷されないことがあります。



- 絶対にベンジンやシンナーなどの溶剤や中性洗剤を使ってセルフィーを拭かないでください。外装が変質や変形したり、塗装がはがれたりすることがあります。

■ 妨害電波自主規制について

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。プリンターユーザーガイド（本書）に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

■ 商標、ライセンスについて

- DCF は、（社）電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- Microsoft、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- App Store、iPhone、iPad は、Apple Inc. の商標です。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC. の商標です。
- Wi-Fi[®]、Wi-Fi Alliance[®]、WPA[™]、WPA2[™] および Wi-Fi Protected Setup[™] は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。
- 本機器は、Microsoft からライセンスされた exFAT 技術を搭載しています。
- Portions of the code used in this firmware are based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- Based on XySSL: Copyright (C) 2006-2008 Christophe Devine Copyright (C) 2009 Paul Bakker <polarssl_maintainer at polarssl dot org> All rights reserved.



このガイドについて

- 内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- イラストや画面表示は、実際と一部異なることがあります。
- 本製品およびソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

Wi-Fi（無線 LAN）について

- 本製品には、電波法に基づく認証を受けた無線装置が内蔵されており、証明ラベルは無線設備に添付されています（モデルナンバーは、CD1132 です）。
- 無線 LAN が使える国や地域について
 - 無線 LAN 機能の使用は、国や地域ごとの法令等により規制されていることがあるため、違反すると罰せられることがあります。そのため、無線 LAN 機能が使用できる国や地域については、キヤノンの Web サイトでご確認ください。
 - なお、それ以外の国や地域で無線 LAN 機能を使用した際のトラブル等については、弊社は一切責任を負いかねます。
- 次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解、または改造すること
 - 本製品上の証明ラベルをはがすこと
- 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により、戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。
- 本製品には、米国製暗号化ソフトウェアが搭載されているため、米国輸出管理規制（EAR）の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しはできません。
- ご使用になる無線 LAN の設定については、必ず控えを取ってください。

本製品に登録した無線 LAN の設定は、誤操作、電波や静電気の影響、事故、故障などによって変質したり消失したりする場合があります。万一に備え、無線 LAN の設定は控えを取っておいてください。弊社の責によらずに内容の変質や消失が生じた結果による、直接または間接の損害および逸失利益について、弊社では一切の責任を負いかねます。

- 本製品を譲渡、廃棄、または修理の依頼をする場合は、必要に応じて無線 LAN の設定の控えを取った上で、無線 LAN の設定を初期化（消去）してください。
- 紛失や盗難などによる損害の補償はいたしかねます。
紛失や盗難などによって、本製品に登録されている接続先への不正アクセス・利用がされるなどの結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本書に記載している使用方法をお守りください。
本製品の無線 LAN 機能は、この使用説明書に記載している範囲内でお使いください。それ以外の用途や用法で使用了結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 医療機器や電子機器の近くでは、本製品の無線 LAN 機能は使用しないでください。
無線 LAN 機能が医療機器や電子機器の動作に影響を及ぼす恐れがあります。

電波干渉について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、およびアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局、およびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ② 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様相談センターにご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センターへお問い合わせください。

2.4 DS/OF 4

この表示は 2.4GHz 帯を使用している無線機器であることを意味します。

本製品は、他の電波を発する機器から、電波干渉を受ける場合があります。

これらの機器からできるだけ遠く離すか、ご利用時間を分けるなどして、電波干渉を避けて使用してください。

Complies with
IDA Standards
DB00671

セキュリティについて

無線 LAN は電波を使って通信するため、LAN ケーブルを使う有線 LAN よりもセキュリティに注意する必要があります。

無線 LAN をお使いになる場合は、次の点に注意してください。

- 使用権限があるネットワークだけを使う

本製品は、周辺の無線 LAN ネットワークを検索して画面に表示します。そのため、使用する権限がない（知らない）ネットワーク名も表示されることがあります。しかし、それらのネットワークに接続しようとしたり接続して利用したりすると、不正アクセスと見なされる恐れがあります。使用する権限があるネットワークだけを利用し、それ以外のネットワークには接続しないように注意してください。

また、セキュリティに関する設定が適切に行われていない場合、次のような問題が発生する恐れがありますので注意してください。

- 通信の傍受

悪意ある第三者によって無線 LAN の電波を傍受され、通信内容を盗み見られる恐れがあります。

- ネットワークへの不正アクセス

悪意ある第三者によってお使いのネットワークに不正に侵入され、情報の盗難・改ざん・破壊をされるといった被害に遭う恐れがあります。

また、別の人物を装ってネットワークに不正な情報を流す「なりすまし」通信がされたり、「踏み台」と呼ばれる別の不正アクセスへの中継地点にされたりする恐れもあります。

こうした問題が発生する可能性を少なくするため、無線 LAN のセキュリティを確保するための仕組みや機能を必ず使ってください。無線 LAN のセキュリティについて理解し、利便性とリスクのバランスをよく考えたセキュリティに関する設定を行った上で、本製品の無線 LAN 機能をお使いいただくことをおすすめします。

印刷について

印刷が終わるまで通信を中断しないでください。中断すると途中までしか印刷されなかったり正しく印刷できないことがあります。



この製品は、無線 LAN 経由での PictBridge（ピクトブリッジ）で印刷できます。

PictBridge とは、デジタルカメラとプリンターなどの対応機器を直接つないでかんたんに印刷するための規格です。なお、ネットワーク環境でも PictBridge を利用できる DPS over IP（ディーピーエス オーバー アイピー）という規格が制定され、本製品はその規格に対応しています。

■ WPA Supplicant のライセンスについて

WPA Supplicant

Copyright (c) 2003-2012, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors All Rights Reserved.

This program is licensed under the BSD license (the one with advertisement clause removed).

If you are submitting changes to the project, please see CONTRIBUTIONS file for more instructions.

License

This software may be distributed, used, and modified under the terms of BSD license:

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

* 規定により英語で表記しています。

使用済みインクカートリッジ回収のご案内

キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的といたしまして、使用済みインクカートリッジの回収を行っております。使い終わったインクカートリッジは、お近くの販売店等に設置されたキヤノンカートリッジ回収ボックスまでお持ち込みくださいますよう、ご協力お願い申し上げます。回収したインクカートリッジは、各部材毎に適切な方法でリサイクル処理いたします。なお、セルフイーで印刷後、インクカートリッジ内に残る写真の潜像は、処理過程において、復元できないように破壊・廃却し、潜像の利用・復元等は一切いたしません。